

# 2005年度決算説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

平成18年6月14日

# 目次

## 【2005年度決算概要】

- ・決算概要Ⅰ－①<P/L:連結・2行合算> 2
- ・決算概要Ⅰ－②<P/L:各行> 3
- ・決算概要Ⅱ－①<B/S:連結・2行合算> 4
- ・決算概要Ⅱ－②<B/S:各行> 5
- ・経営健全化計画と実績 6
- ・2006年度業績予想 7

## 【トップラインの増強に向けて】

- ・個人ローンの増強Ⅰ<総体> 9
- ・個人ローンの増強Ⅱ<住宅ローン> 10
- ・個人ローンの増強Ⅲ<カードローン> 11
- ・フィー・ビジネスの増強Ⅰ<役務取引利益> 12
- ・フィー・ビジネスの増強Ⅱ<投資型金融商品> 13
- ・フィー・ビジネスの増強Ⅲ<私募債等> 14
- ・ローコストオペレーションの追求 15

## 【強靱な財務内容の構築に向けて】

- ・金融再生法開示債権の推移 17
- ・信用コストと業務純益 18
- ・有価証券残高<FG連結・2行合算> 19
- ・有価証券残高<北陸銀行・北海道銀行> 20
- ・ポートフォリオ(円貨債券) 21
- ・自己資本比率の推移 22
- ・繰延税金資産の推移 23

## 【経営戦略】

- ・CSRへの取り組みⅠ<CSRの基本方針> 25
- ・CSRへの取り組みⅡ<当社グループのCSRの考え方> 26
- ・CSRへの取り組みⅢ<ビジネスマッチング> 27
- ・CSRへの取り組みⅣ<海外ビジネス支援> 28
- ・ほくほくFGのシナジー効果Ⅰ<目指すべき姿> 29
- ・ほくほくFGのシナジー効果Ⅱ<店舗統廃合> 30
- ・ほくほくFGのシナジー効果Ⅲ<システム共同利用> 31
- ・ほくほくFGのシナジー効果Ⅳ<業務提携> 32

# 2005年度決算概要

# 決算概要 I - ① <P/L : 連結・2行合算>

- トップライン拡大⇒コア業務純益922億円(前期比+64億円)  
北陸・北海道銀行とも、過去最高益を更新
- 与信コスト減少⇒経常利益505億円(前期比+164億円)、当期純利益290億円(前期比+138億円)

(億円)	FG連結 06/3期	2行合算+分割子会社		
		06/3期	05/3期	増減
<b>コア業務粗利益</b>	<b>1,862</b>	<b>1,808</b>	<b>1,750</b>	<b>58</b>
<b>資金利益</b>	<b>1,372</b>	<b>1,384</b>	<b>1,410</b>	<b>▲26</b>
<b>役務取引等利益</b>	<b>320</b>	<b>292</b>	<b>263</b>	<b>28</b>
<b>特定取引利益</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>31</b>	<b>▲20</b>
<b>その他業務利益 ※1</b>	<b>157</b>	<b>120</b>	<b>44</b>	<b>76</b>
<b>経費(臨時処理分を除く) (▲)</b>	<b>913</b>	<b>886</b>	<b>892</b>	<b>▲5</b>
<b>コア業務純益</b>	<b>949</b>	<b>922</b>	<b>858</b>	<b>64</b>
<b>業務純益(一般貸倒引当金繰入前)</b>	<b>956</b>	<b>920</b>	<b>910</b>	<b>10</b>
<b>不良債権処理額 ※2 (▲)</b>	<b>511</b>	<b>477</b>	<b>594</b>	<b>▲117</b>
<b>株式等損益</b>	<b>68</b>	<b>70</b>	<b>15</b>	<b>55</b>
<b>経常利益</b>	<b>482</b>	<b>505</b>	<b>341</b>	<b>164</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲17</b>	<b>▲15</b>	<b>▲22</b>	<b>7</b>
<b>法人税等(法人税等調整額含)(▲)</b>	<b>196</b>	<b>199</b>	<b>165</b>	<b>33</b>
<b>当期純利益</b>	<b>268</b>	<b>290</b>	<b>152</b>	<b>138</b>

	06/3期	05/3期	増減
資金利益(国内)	1,376	1,396	▲19
うち貸出金利息	1,259	1,336	▲77
うち有価証券利息	154	130	24
うち預金利息(▲)	37	51	▲14
資金利益(国際)	7	14	▲6

RMBS要因 ▲19

	06/3期	05/3期	増減
役務取引等利益	292	263	28
うち為替	117	120	▲2
うち投信	68	45	23
うち生保	35	19	15

	06/3期	05/3期	増減
一般貸引繰入	▲128	▲67	▲61
不良債権処理額	606	661	▲55
うち債務者区分	489	465	24
うち担保	173	171	2
うちその他	▲56	25	▲81

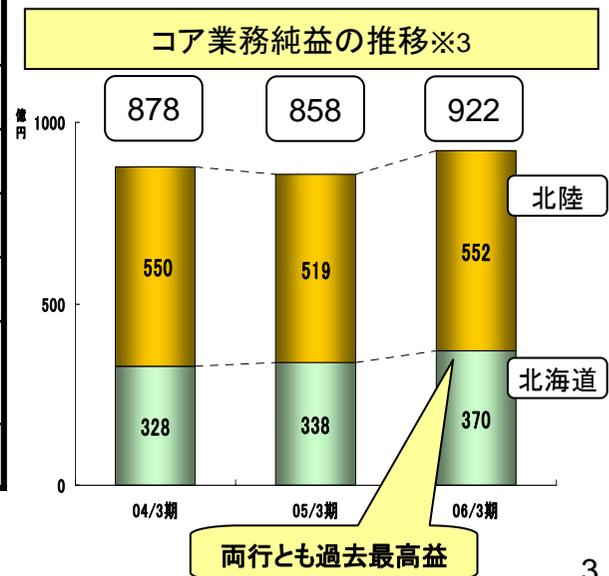
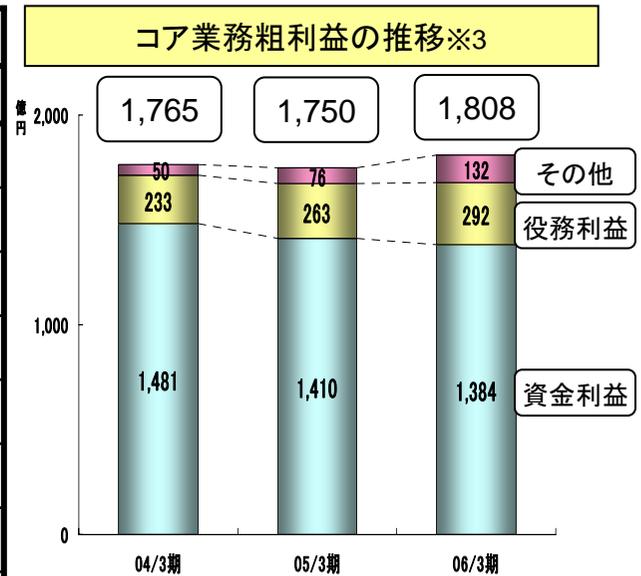
※1 国債等債券損益等を除く ※2 一般貸倒引当金繰入含む

※3 2行合算+分割子会社(北銀コーポレート)

※ 内部管理ベース

# 決算概要 I - ② <P/L : 各行>

(億円)	北陸銀行 (06/3期)	+分割子会社		北海道銀行 (06/3期)	増減	
		05/3期	増減	05/3期	増減	
<b>コア業務粗利益</b>	1,061	1,036	24	747	713	33
資金利益	785	823	▲38	599	586	12
役務取引等利益	169	151	18	122	112	10
特定取引利益	11	31	▲20	—	—	—
その他業務利益 ※1	94	29	65	25	14	11
経費(臨時処理分を除く)(▲)	509	516	▲7	377	375	1
<b>コア業務純益</b>	552	519	32	370	338	31
<b>業務純益</b> (一般貸倒引当金繰入前)	555	566	▲11	365	343	22
不良債権処理額 ※2(▲)	347	426	▲78	129	168	▲38
株式等損益	61	13	47	9	2	7
<b>経常利益</b>	267	168	99	238	173	65
特別損益	▲8	▲21	13	▲7	▲0	▲6
法人税等 (法人税等調整額含)(▲)	102	104	▲2	96	60	35
<b>当期純利益</b>	156	41	114	134	111	23



※1 国債等債券損益等を除く ※2 一般貸倒引当金繰入含む

※3 2行合算+分割子会社(北銀コーポレート)

# 決算概要Ⅱ－①<B/S：連結・2行合算>

- 貸出金(2行合算＋分割子会社) …… 前期末比＋1,672億円 (注)
- 有価証券(2行合算) …… 前期末比＋1,962億円
- 預金(2行合算) …… 前期末比▲1,096億円

(億円)	FG連結 06/3期	2行合算		
		06/3期	05/3期	増減
<b>資産の部</b>	<b>95,356</b>	<b>94,482</b>	<b>92,903</b>	<b>1,579</b>
うち現金預け金	3,468	3,462	4,977	▲1,515
コールローン等	—	—	800	▲800
買入金銭債権	2,153	2,153	223	1,929
貸出金	66,782	66,814	66,789	25
(+分割子会社、RMBS控除ペ-入)		67,062	65,389	1,672
有価証券	17,490	18,027	16,065	1,962
繰延税金資産	1,018	1,027	1,258	▲231
<b>負債の部</b>	<b>91,291</b>	<b>90,937</b>	<b>89,550</b>	<b>1,386</b>
うち預金	81,634	82,164	83,260	▲1,096
譲渡性預金	404	457	217	239
<b>資本の部</b>	<b>4,060</b>	<b>3,545</b>	<b>3,352</b>	<b>193</b>
うち資本金	500	2,339	2,339	—
資本剰余金	2,725	317	317	—
利益剰余金	575	578	410	168

(+分割子会社)	06/3期	05/3期	増減
貸出金	67,062	65,389	1,672
うち中小企業等	50,403	50,286	117
うち個人ローン	16,574	15,235	1,339

(注)北陸銀行では、従来RMBS(住宅ローン信託受益権等)を「貸出金」に含めていましたが、当年度より「買入金銭債権」に含めております。このため、過年度との比較の観点から、過去に遡りRMBSを控除した数値及びその比較数値を示しております。  
 <RMBS残高>  
 ・05/3末：1,822億円

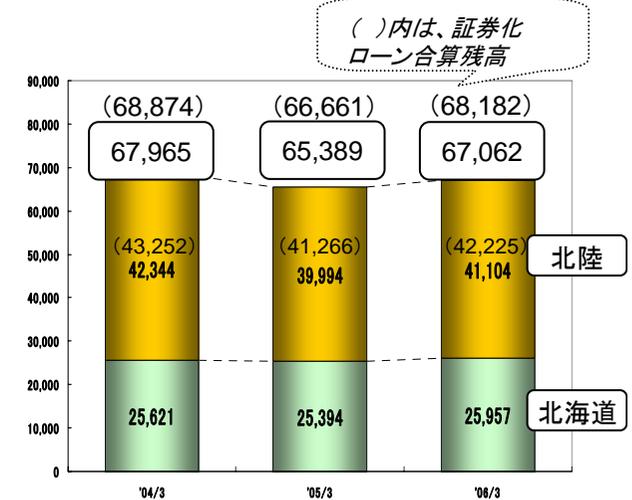
	06/3期	05/3期	増減
有価証券	18,027	16,065	1,962
うち国債	7,493	5,703	1,789
うち地方債	1,498	1,481	17
うち社債	4,282	4,510	▲228
うち株式	2,771	2,331	439

	06/3期	05/3期	増減
預金	82,164	83,260	▲1,096
うち個人預金	55,416	54,348	1,067

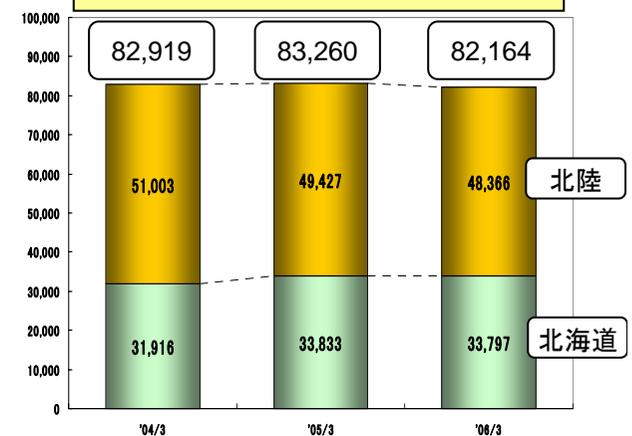
# 決算概要Ⅱ－②<B/S：各行>

(億円)	北陸銀行			北海道銀行		
	06/3期	05/3期	増減	06/3期	05/3期	増減
<b>資産の部</b>	<b>56,377</b>	<b>55,513</b>	863	<b>38,105</b>	<b>37,389</b>	715
うち現金預け金	1,478	1,984	▲505	1,983	2,993	▲1,009
コールローン等	—	800	▲800	—	0	▲0
買入金銭債権	2,153	223	1,929	0	0	0
貸出金	40,857	41,394	▲537	25,957	25,394	562
(+分割子会社、 RMBS控除ベース)	41,104	39,994	1,110			
有価証券	8,927	8,156	770	9,100	7,908	1,191
繰延税金資産	630	807	▲176	396	451	▲55
<b>負債の部</b>	<b>54,208</b>	<b>53,570</b>	637	<b>36,729</b>	<b>35,980</b>	748
うち預金	48,366	49,427	▲1,061	33,797	33,833	▲35
譲渡性預金	282	212	69	175	5	170
<b>資本の部</b>	<b>2,169</b>	<b>1,943</b>	226	<b>1,376</b>	<b>1,408</b>	▲32
うち資本金	1,404	1,404	—	935	935	—
資本剰余金	149	149	0	167	167	▲0
利益剰余金	356	215	140	222	194	27

貸出金推移(2行合算+分割子会社)  
～(RMBS控除ベース,前頁参照)～



預金推移(2行合算)



# 経営健全化計画と実績

(億円)

(2行合算)	05/3期 実績	06/3期 計画	06/3期	
			実績	計画比
業務粗利益	1,802	1,767	<b>1,800</b>	33
経費	891	887	<b>885</b>	▲2
OHR<経費/業務粗利益>	49.49%	50.19%	<b>49.16%</b>	▲1.03%
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	910	880	<b>915</b>	35
コア業務純益 ※1	858	872	<b>917</b>	45
不良債権処理額 ※2	595	390	<b>466</b>	76
経常利益	340	476	<b>506</b>	30
当期純利益	152	259	<b>291</b>	32
剰余金残高(FG+2行) ※3	463	647	<b>681</b>	34
自己資本比率(FG連結)	8.33%	8.12%	<b>9.00%</b>	0.88%
Tier1比率	5.95%	6.34%	<b>6.47%</b>	0.13%

※1 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)－国債等債券損益等

※2 一般貸倒引当金繰入を含む

※3 利益剰余金のうち、利益準備金以外

# 2006年度業績予想

(億円)

	ほくほくFG連結 (2006年度予想)		
	中間期	通期	前年度比
経常収益	1,150	<b>2,300</b>	▲109
経常利益	245	<b>600</b>	118
当期純利益	135	<b>350</b>	82

コア業務純益 : 過去最高水準の前年度実績を維持

当期純利益 : 与信費用の減少を主因に、2行合算ベースで経営健全化計画策定後で過去最高水準の前年度実績を更新

(以上、2行合算+分割子会社ベース)

普通株式配当 : 年2.0円(0.5円増配)の計画

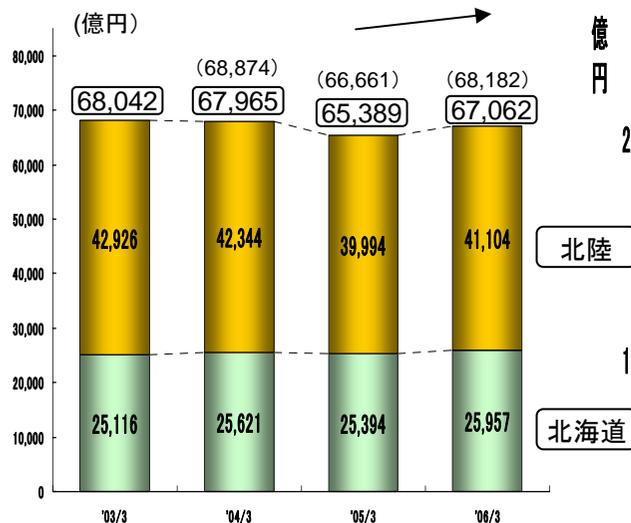
(億円)

	2行合算+分割子会社 (2006年度予想)								
				北陸銀行+分割子会社			北海道銀行		
	中間期	通期	前年度比	中間期	通期	前年度比	中間期	通期	前年度比
経常収益	1,020	<b>2,050</b>	▲158	600	<b>1,200</b>	▲126	420	<b>850</b>	▲32
コア業務純益	445	<b>920</b>	▲2	270	<b>550</b>	▲2	175	<b>370</b>	0
与信費用	190	<b>310</b>	▲167	120	<b>210</b>	▲137	70	<b>100</b>	▲29
経常利益	255	<b>600</b>	95	150	<b>330</b>	63	105	<b>270</b>	32
当期純利益	140	<b>360</b>	70	80	<b>180</b>	24	60	<b>180</b>	46

トツプラインの増強に向けて

# 個人ローンの増強 I

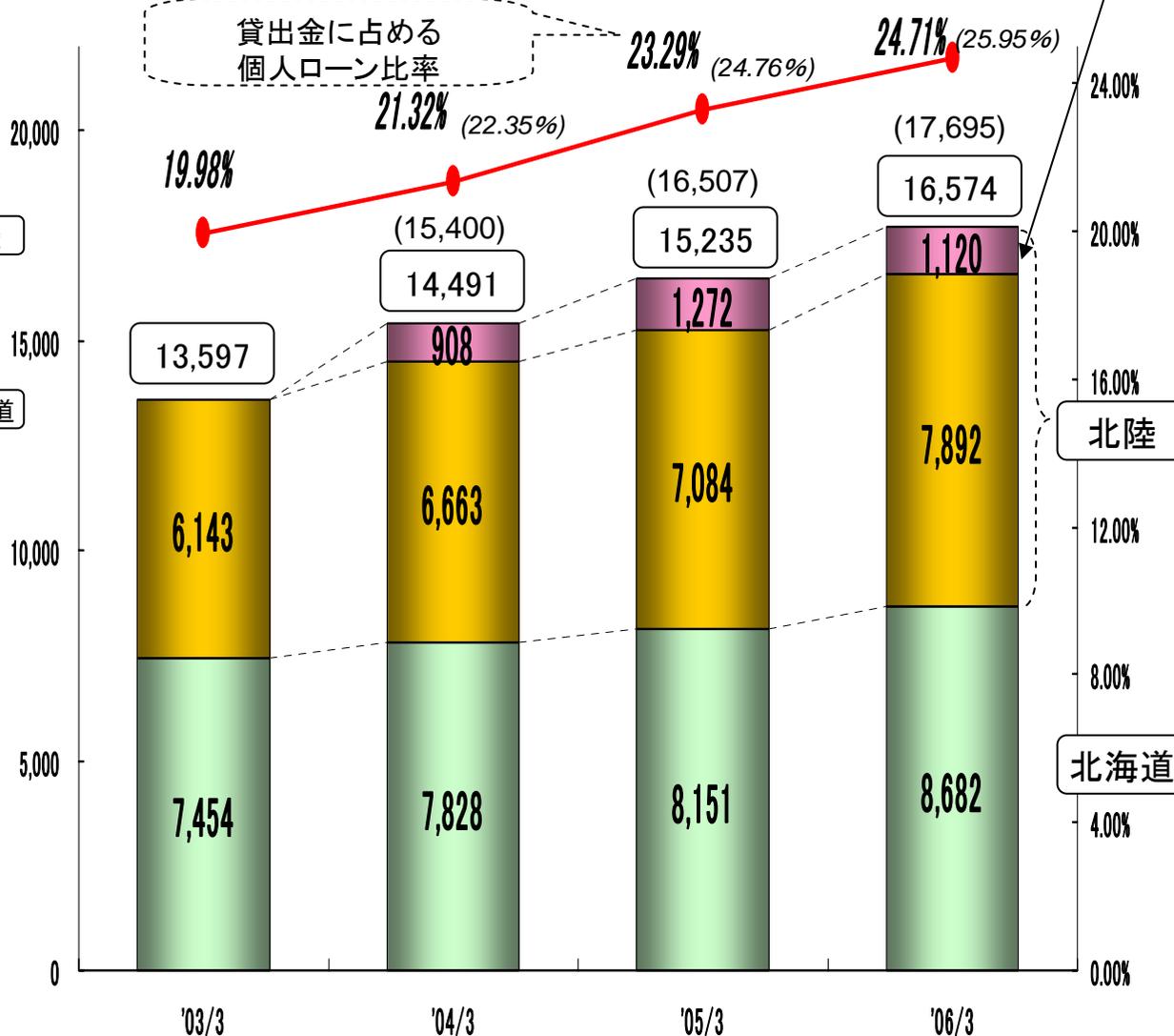
貸出金推移(2行合算) (注)



※北陸銀行には分割子会社分を含む

(注)北陸銀行では、従来RMBS(住宅ローン信託受益権等)を「貸出金」に含めていましたが、当年度より「買入金銭債権」に含めております。このため、過年度との比較の観点から、過去に遡りRMBSを控除した数値との比較を示しております。

個人ローン残高推移 (2行合算) (注)

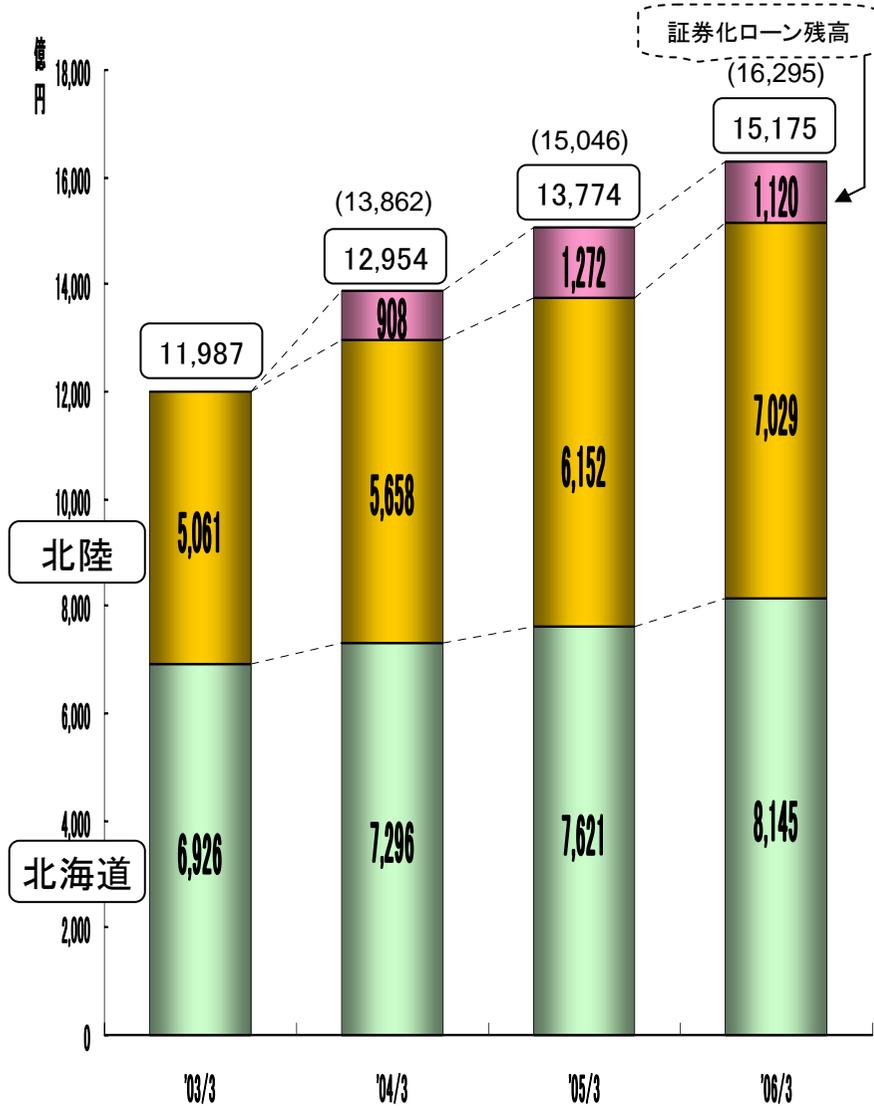


※( )は、証券化ローン合算の残高および証券化ローン合算の貸出金に占める比率。

※証券化ローン合算の個人ローン比率算出時には、分母・分子に証券化ローン残高を含めている。

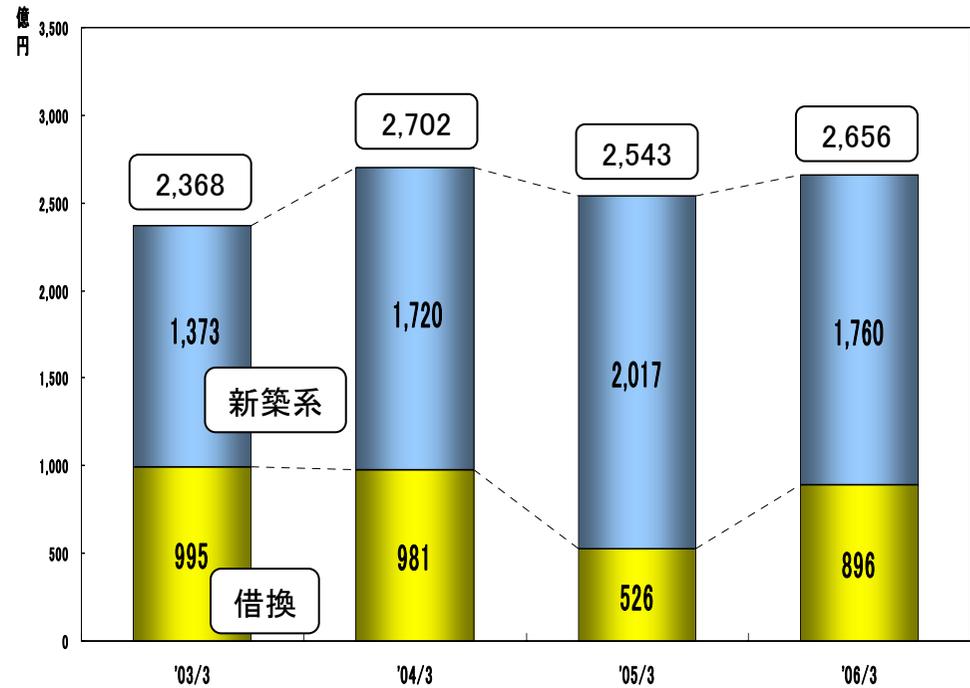
# 個人ローンの増強 II

住宅系ローン残高推移 (2行合算)



※( )は、証券化ローン合算の残高。

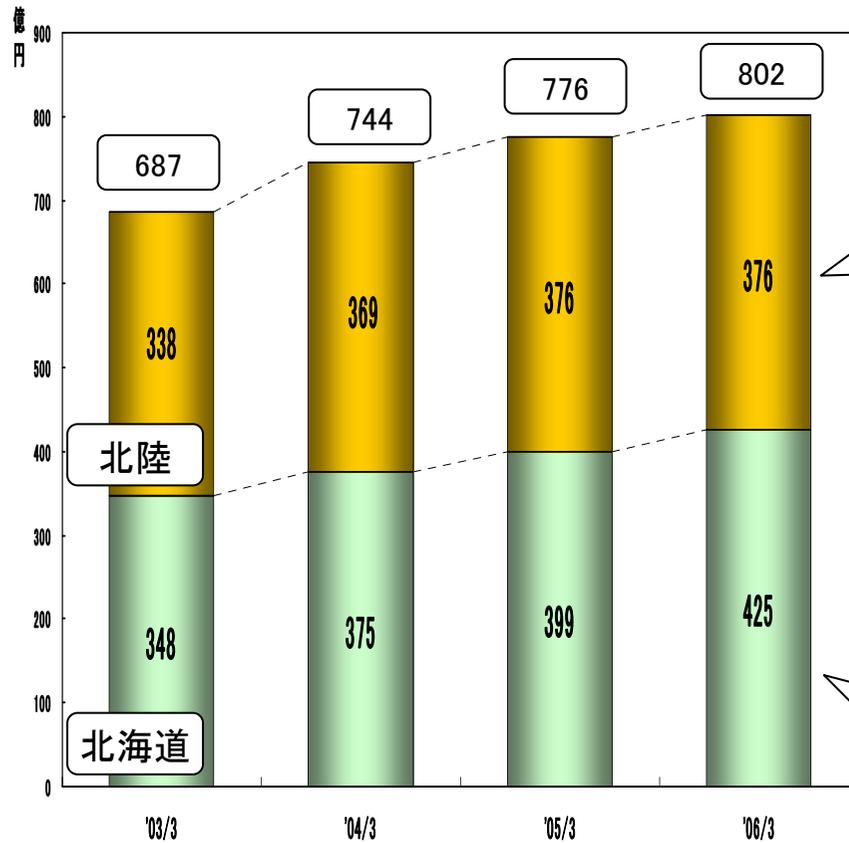
住宅ローン実行額推移 (2行合算)



(億円)		'03/3	'04/3	'05/3	'06/3
北陸	新築系	767	1,073	1,222	1,026
	借換	555	575	281	308
北海道	新築系	605	646	794	734
	借換	440	405	244	588

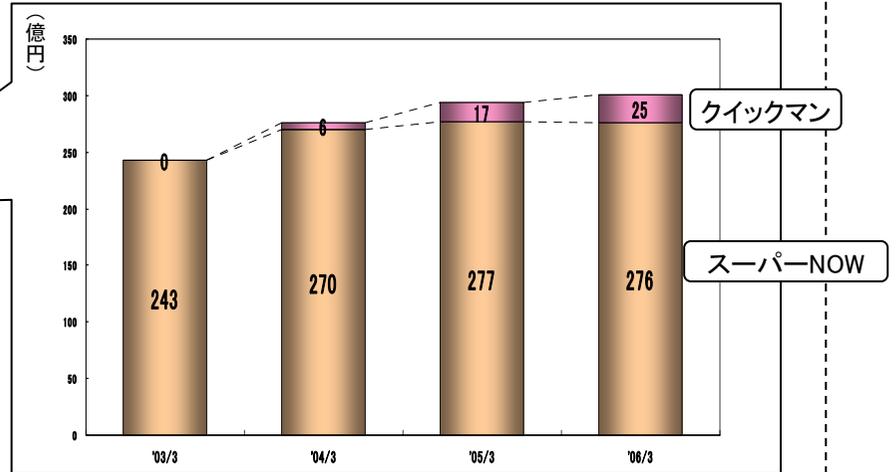
# 個人ローンの増強 Ⅲ

カードローン残高推移 (2行合算)

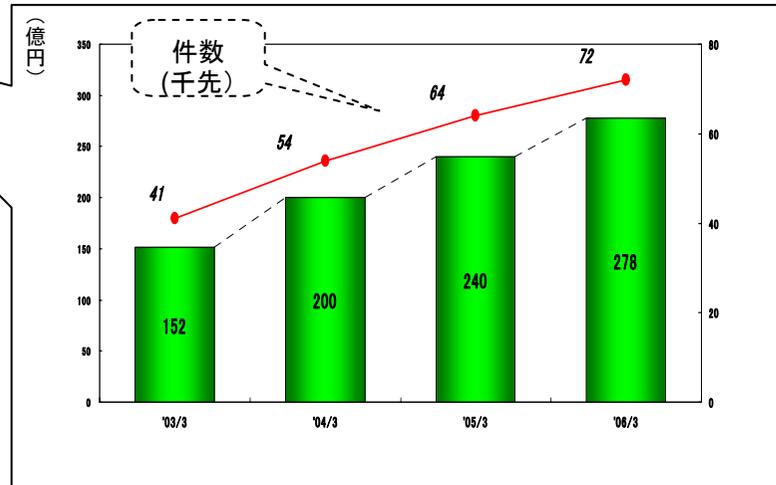


各行の主なカードローン商品の残高推移

北陸銀行:「スーパーNOW」・「クイックマン」残高推移

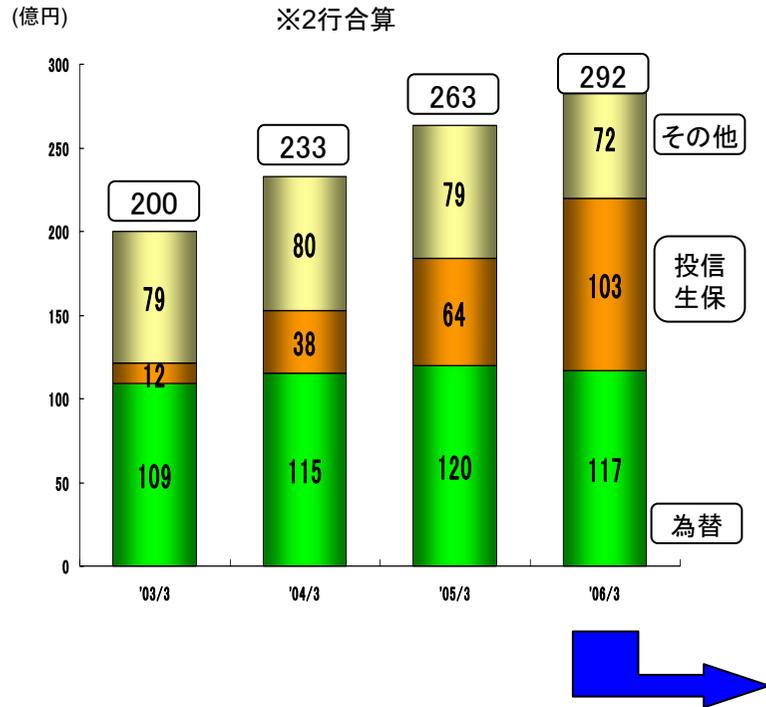


北海道銀行:「ラピッド」の残高・件数推移

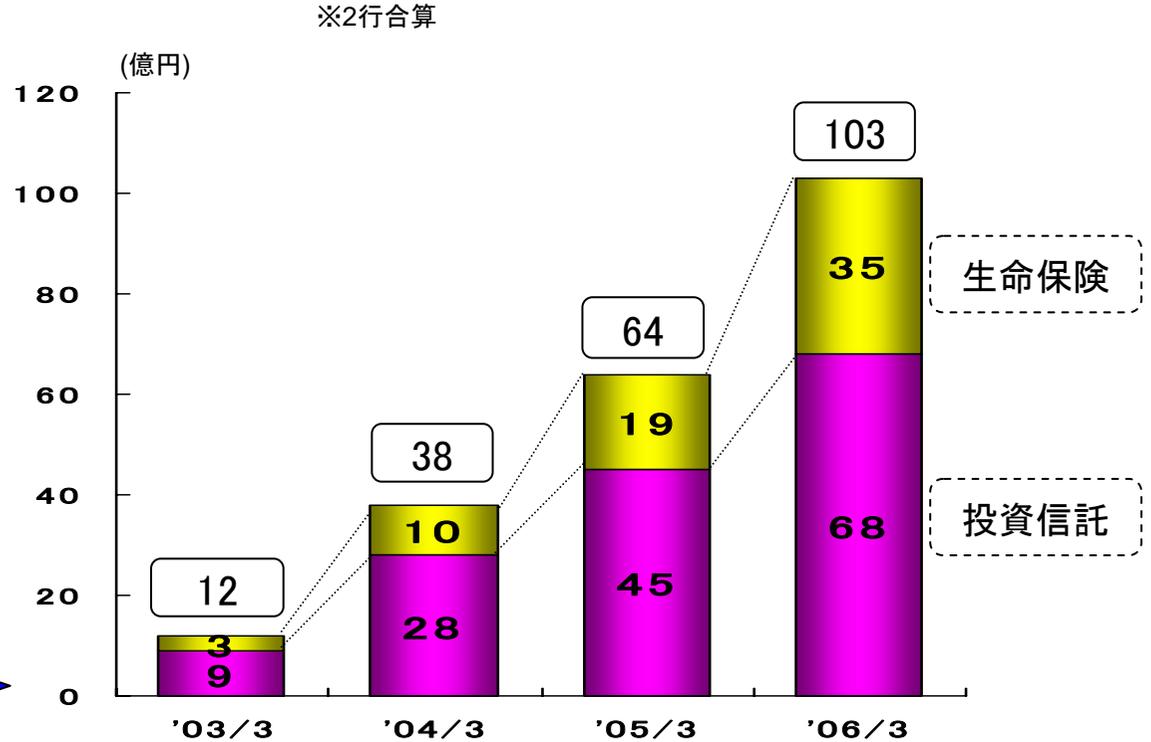


# フィー・ビジネスの増強 I

役務取引等利益の推移(総体)



「投資信託」「生命保険」手数料収入の推移



役務取引等利益に占める  
投信・生保による収益比率  
03/3期 **6%**→06/3期 **35%**

		03/3	04/3	05/3	06/3
北陸	投信	3	20	32	47
	生保	1	6	12	24
	小計	5	27	45	71
北海道	投信	5	8	12	21
	生保	1	3	6	10
	小計	6	11	18	31

# フィー・ビジネスの増強 II

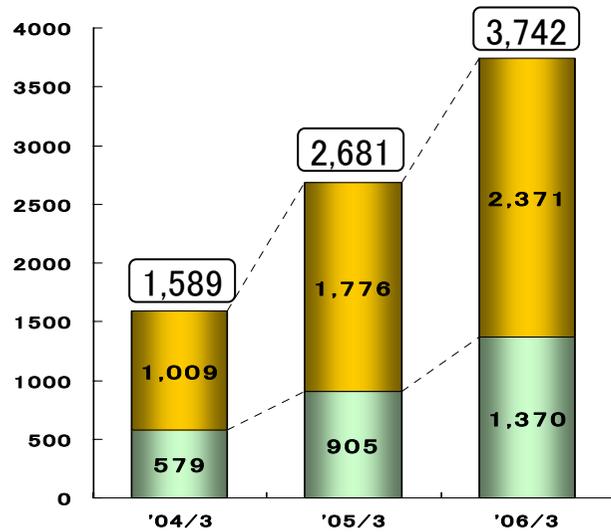
投資型金融商品の状況 ~2行合算~

※全グラフ、上段：北陸銀行、

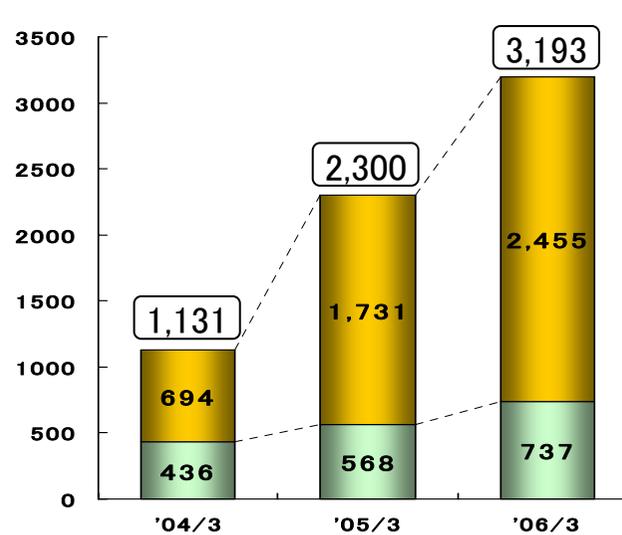
下段：北海道銀行

(単位：億円)

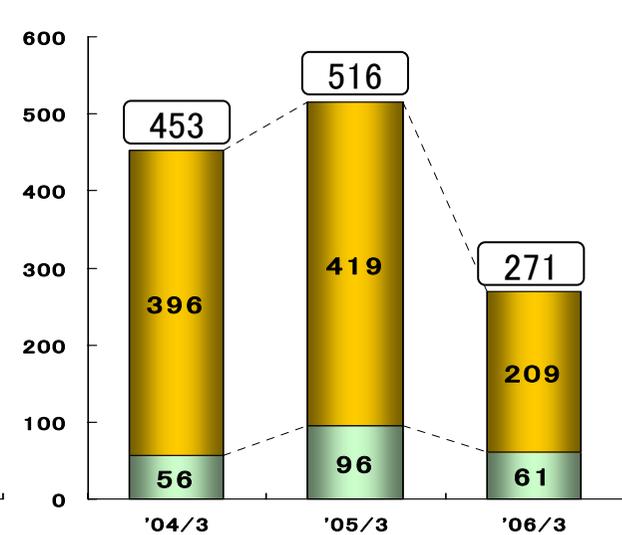
(個人)投資信託残高



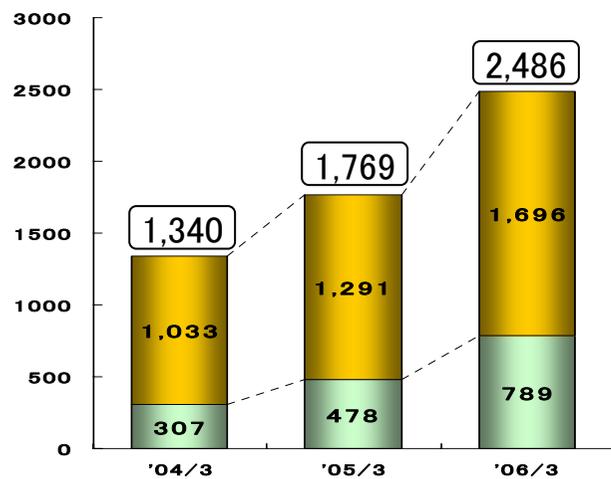
(個人)公共債残高



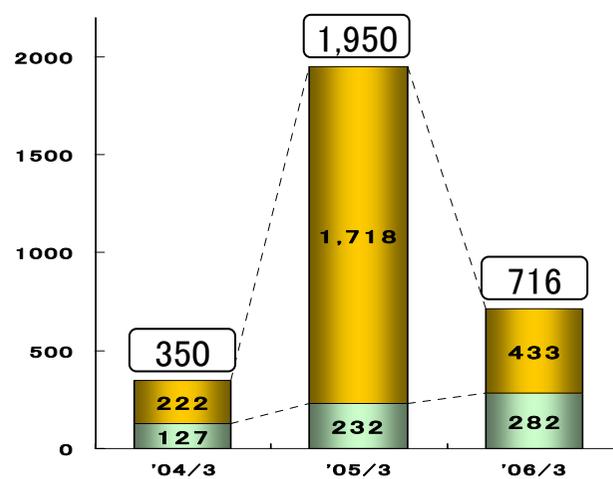
(個人)外貨預金残高



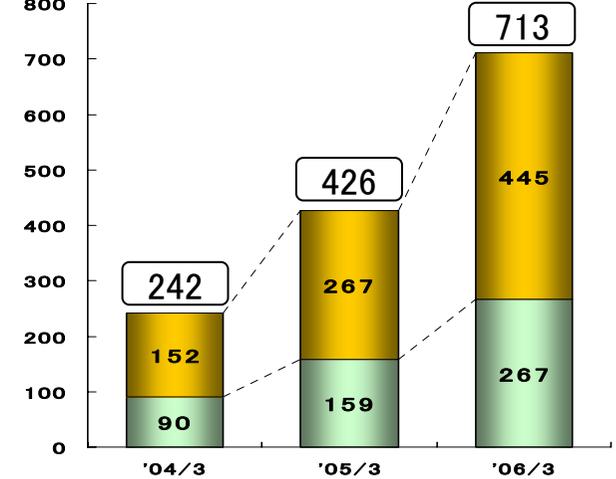
投資信託販売額(総体)



公共債販売額(総体)



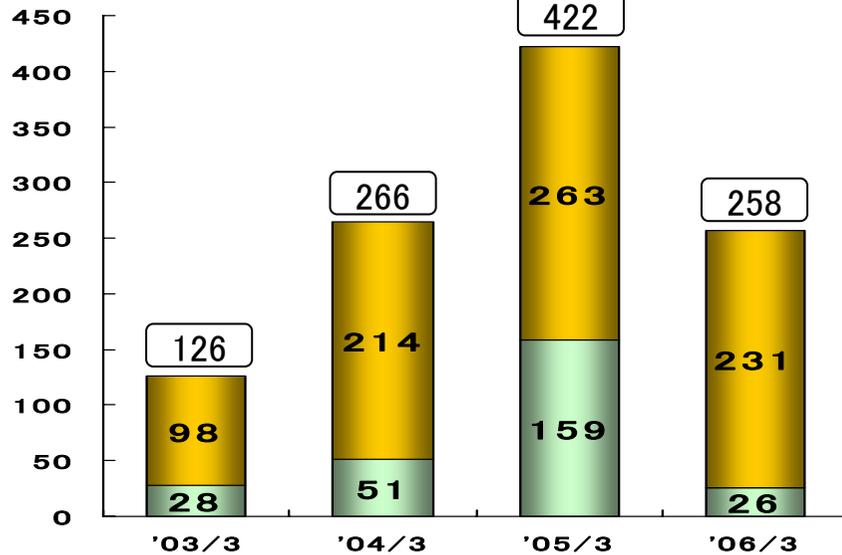
生命保険販売額(総体)



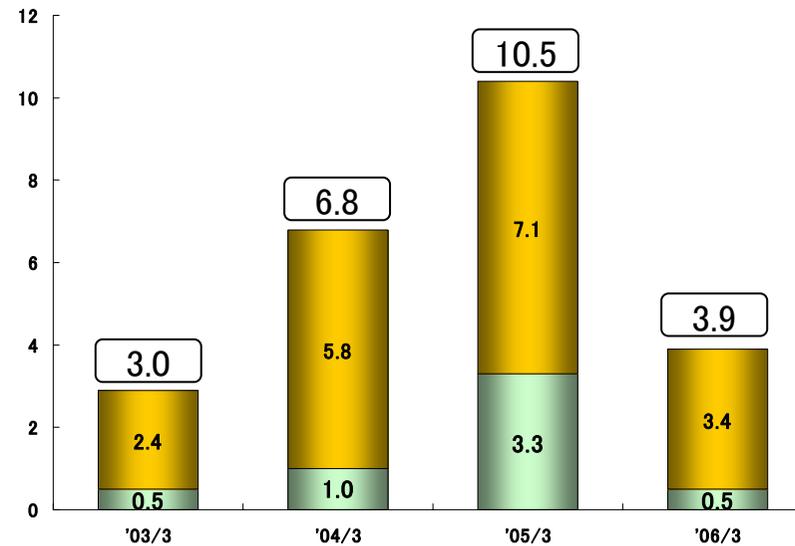
# フィー・ビジネスの増強 Ⅲ

(単位: 億円)

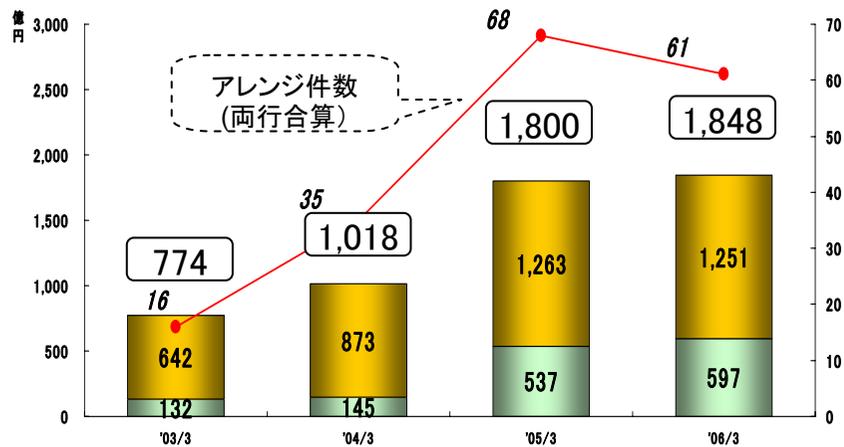
### 私募債発行額推移



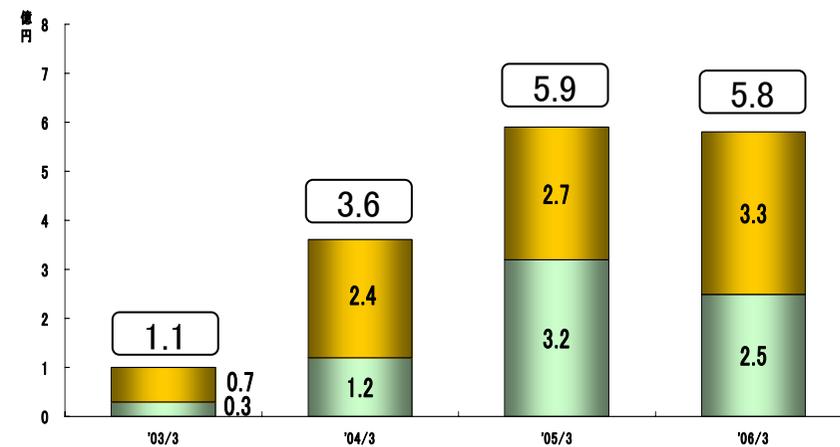
### 私募債手数料収入推移



### シンジケートローンのアレンジ実績推移



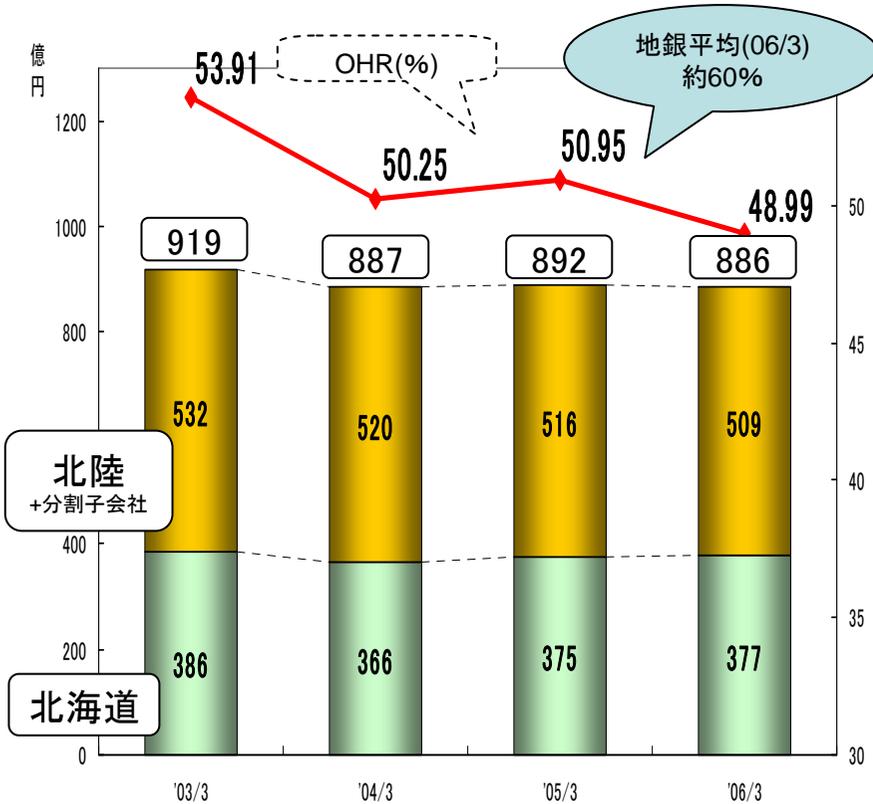
### シンジケートローンのフィー実績推移



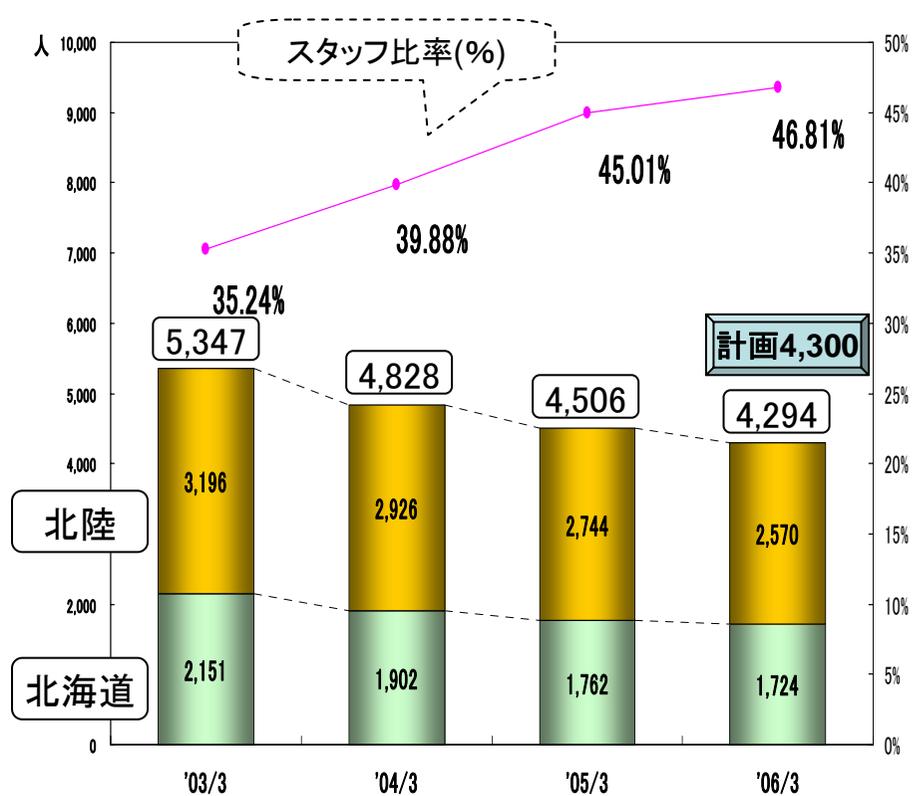
※全グラフ、上段: 北陸銀行、下段: 北海道銀行

# ローコストオペレーションの追求

経費・OHRの推移



人員構成・スタッフ比率の推移



●地銀平均を11ポイント下回る水準

OHR = (経費/コア業務粗利益)

○経営健全化計画を着実にクリア

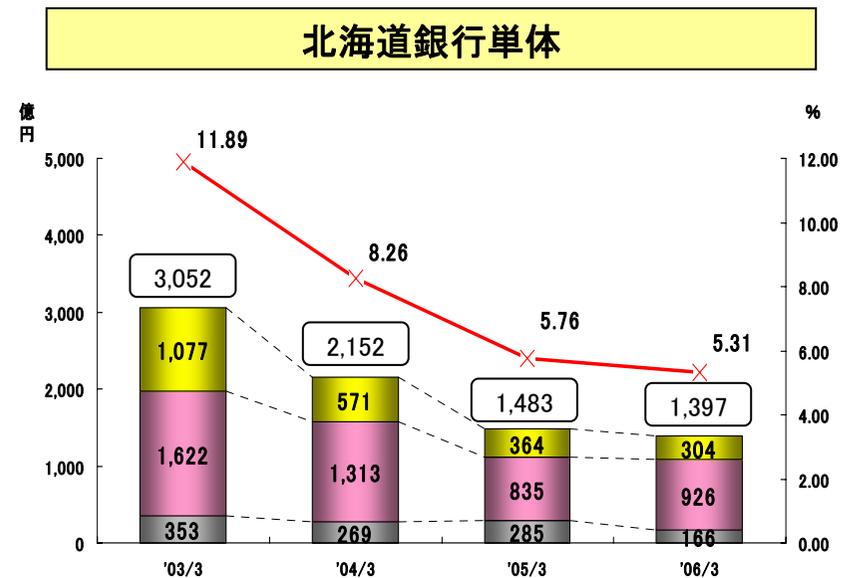
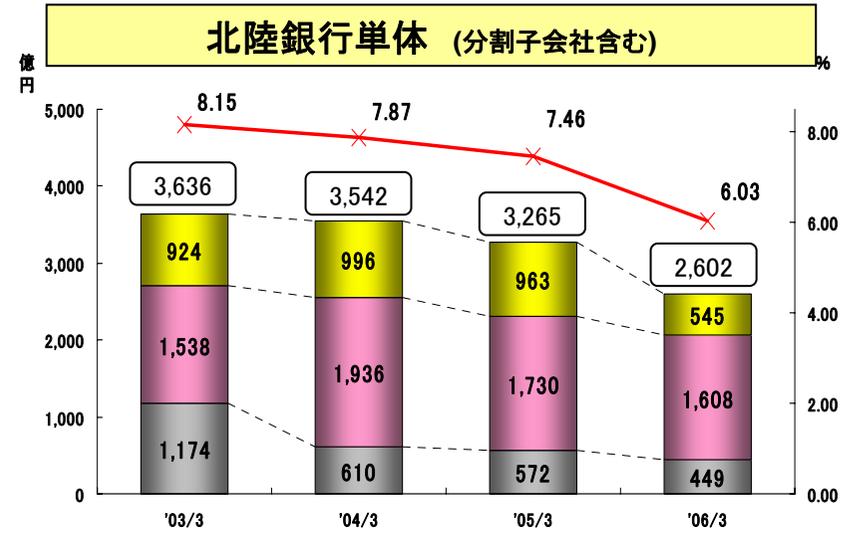
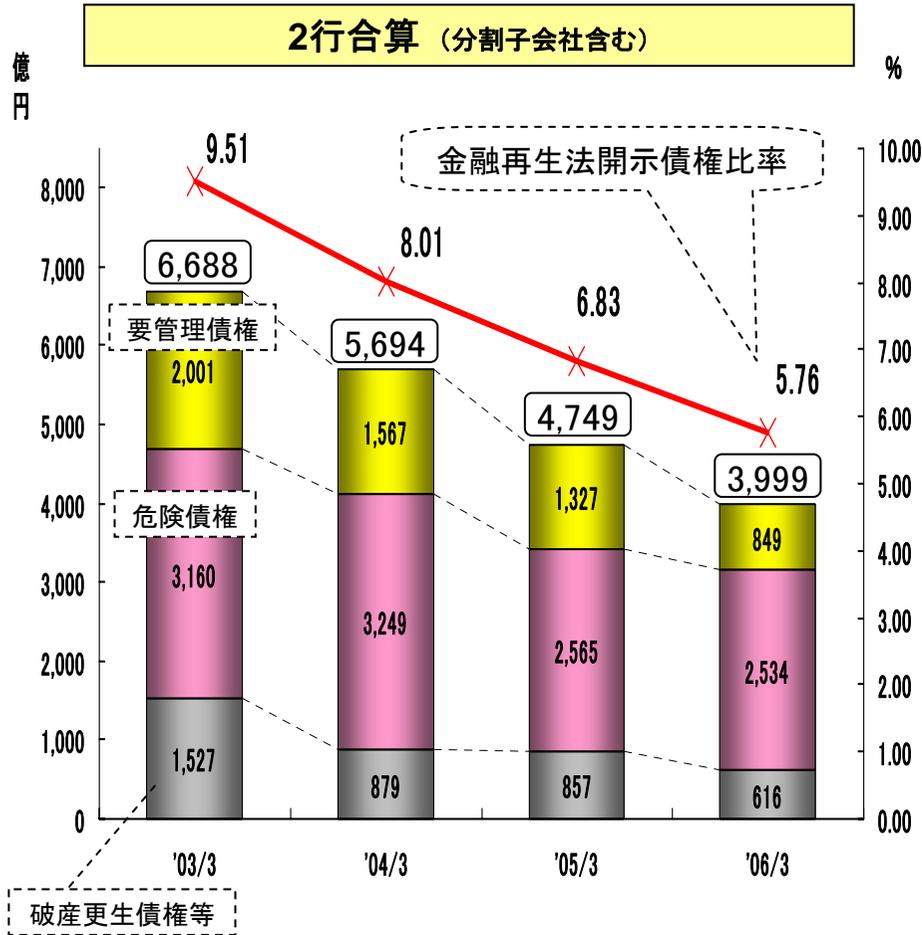
<参考> 06/3末スタッフ数: (陸)2,488、(道)1,292、計3,780

※スタッフ比率 = (嘱託行員 + 契約社員 + 臨時雇 + 派遣・直接雇用パート) ÷ (正行員 + 嘱託行員 + 契約社員 + 臨時雇 + 派遣・直接雇用パート)

※従業員数は経営健全化計画ベース

# 強靱な財務内容の構築に向けて

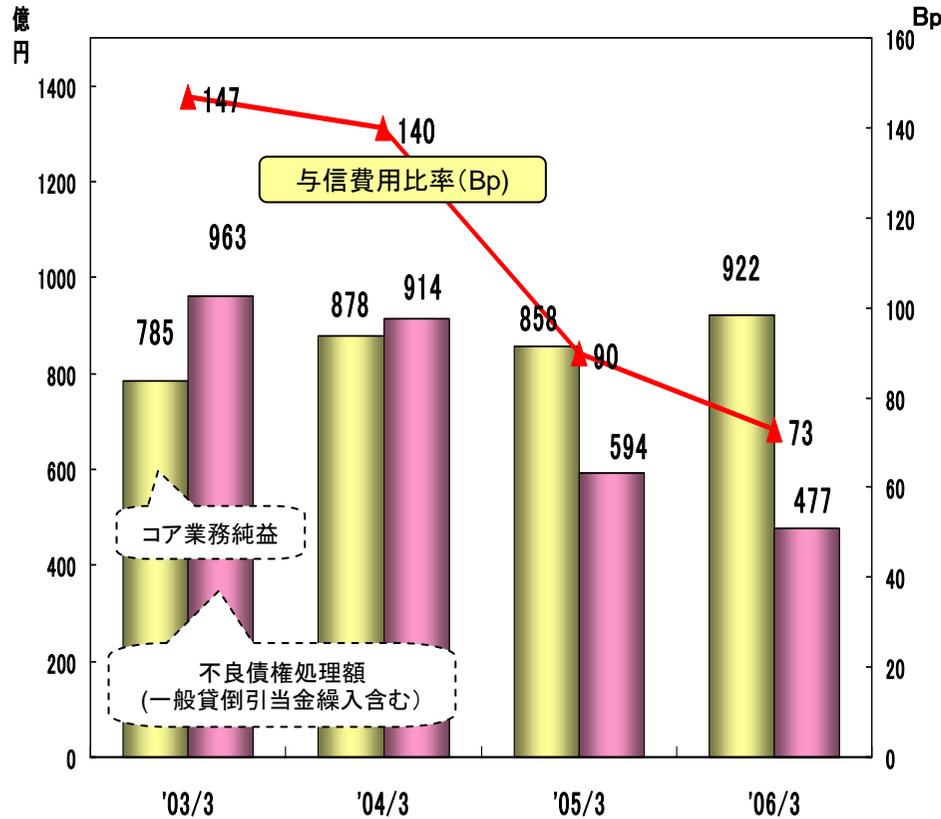
# 金融再生法開示債権の推移



**08/3期目標：開示債権比率5%台を前倒し達成**

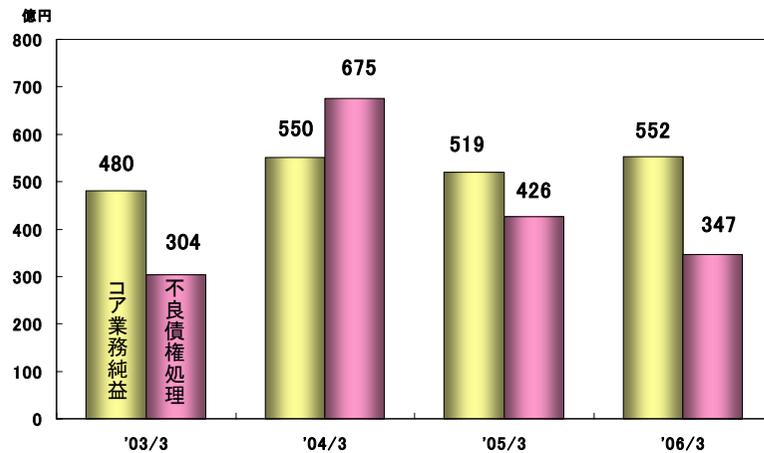
# 信用コストと業務純益

2行合算 (分割子会社含む)

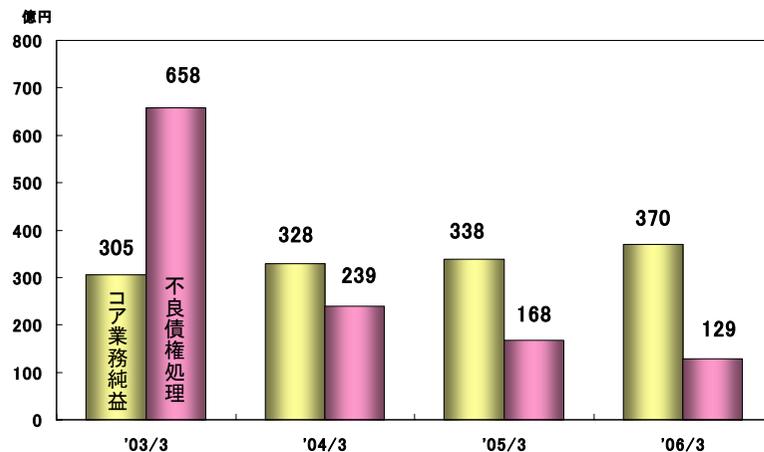


与信費用は、前年比▲117億円の477億円。  
07/3期は、310億円以下に低下見通し。

北陸銀行単体 (分割子会社含む)



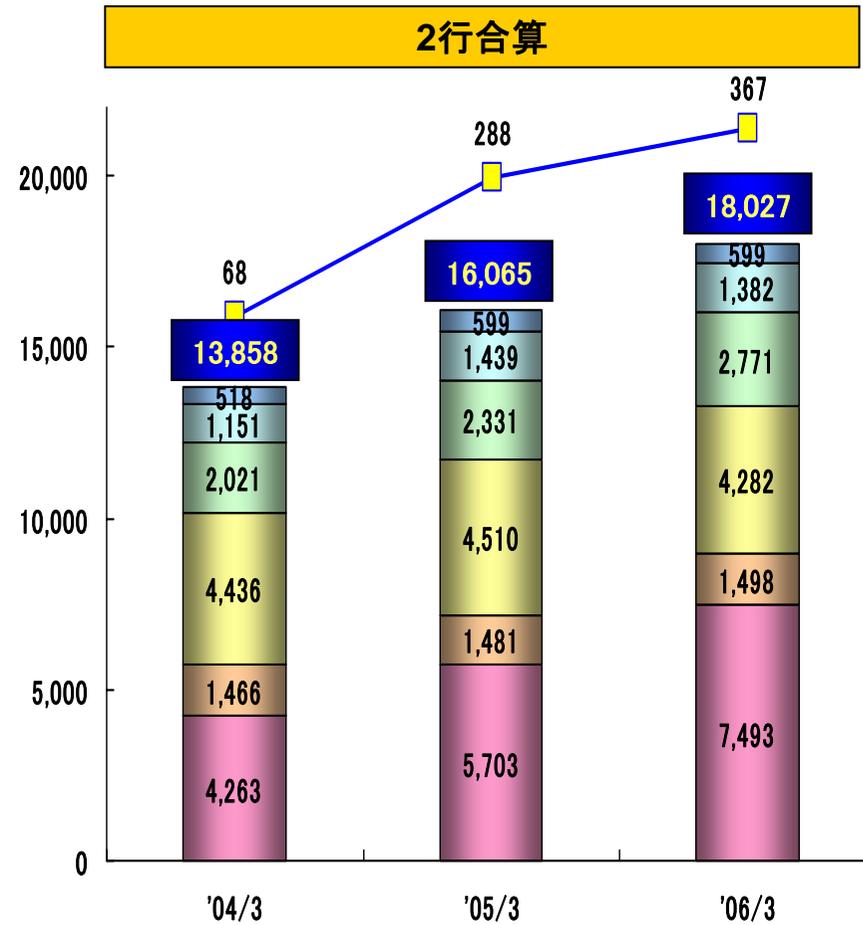
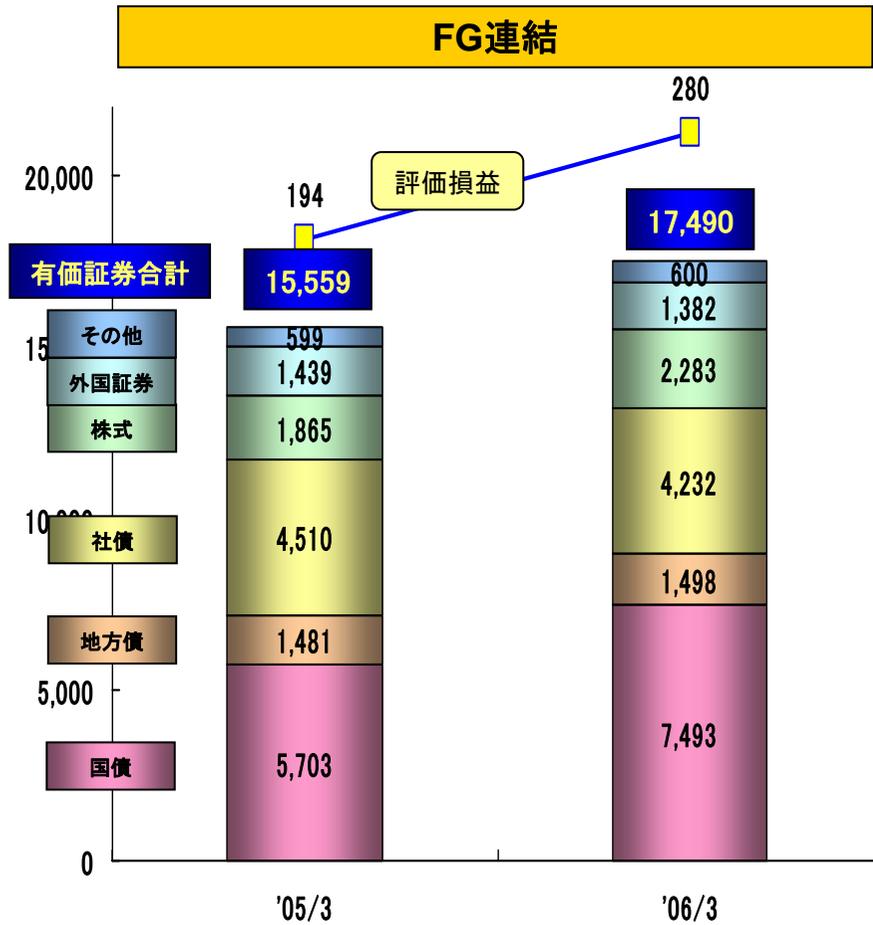
北海道銀行単体



※与信費用比率=不良債権処理額(一般貸倒引当金繰入含む)／貸出金平残

# 有価証券残高(FG連結・2行合算)

(億円)

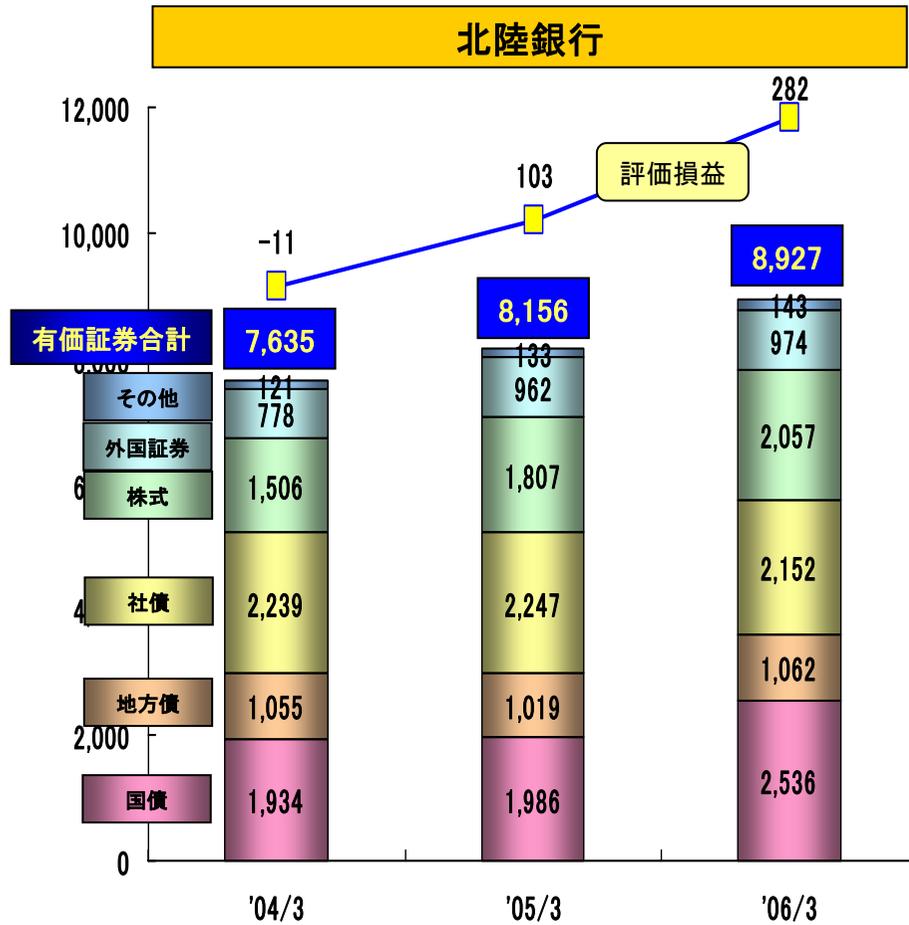


評価損益	04/3	05/3	06/3
その他有価証券		194	280
株式		214	671
債券		19	▲387
その他		▲40	▲3

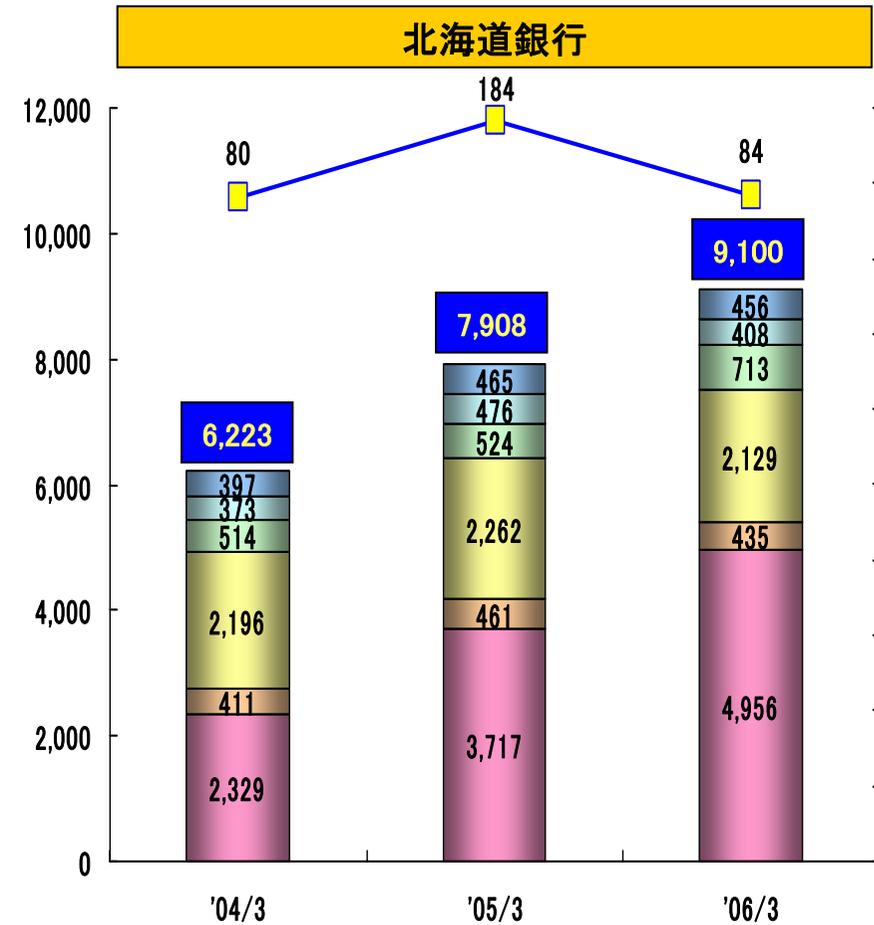
評価損益	04/3	05/3	06/3
その他有価証券	68	288	367
株式	187	303	748
債券	▲78	31	▲379
その他	▲40	▲47	▲2

# 有価証券残高(北陸銀行・北海道銀行)

(億円)



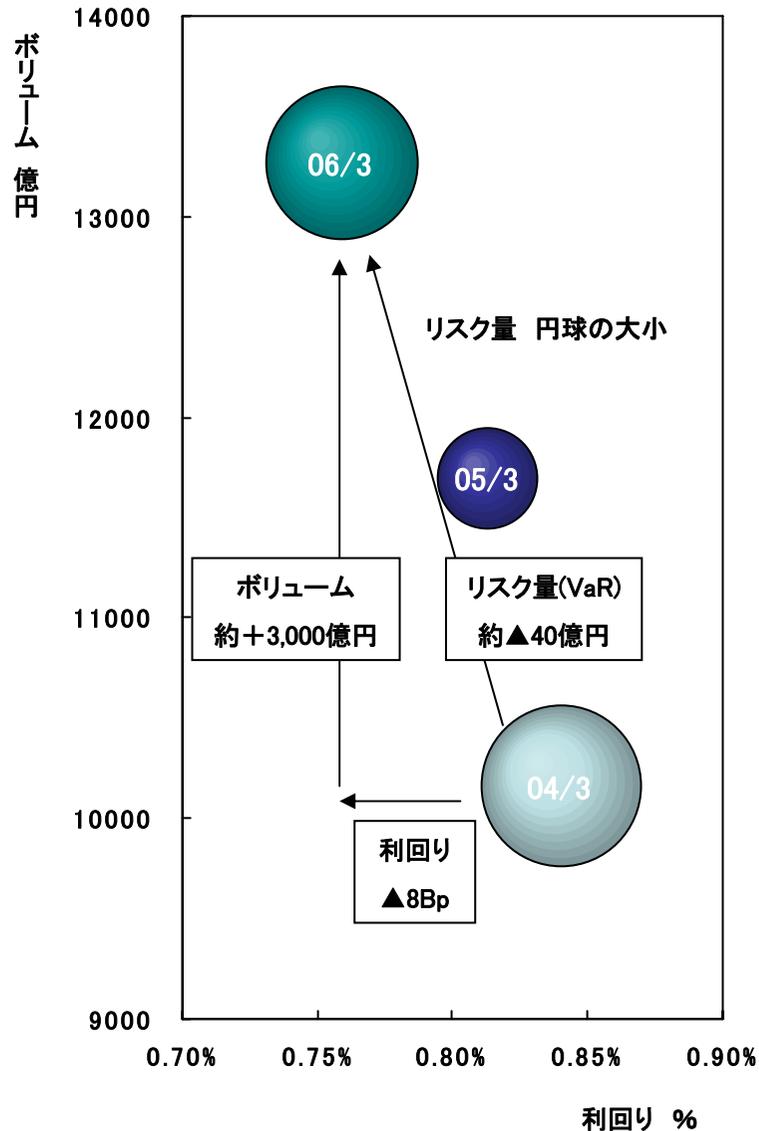
評価損益	04/3	05/3	06/3
その他有価証券	▲11	103	282
株式	93	169	454
債券	▲72	▲20	▲163
その他	▲32	▲45	▲8



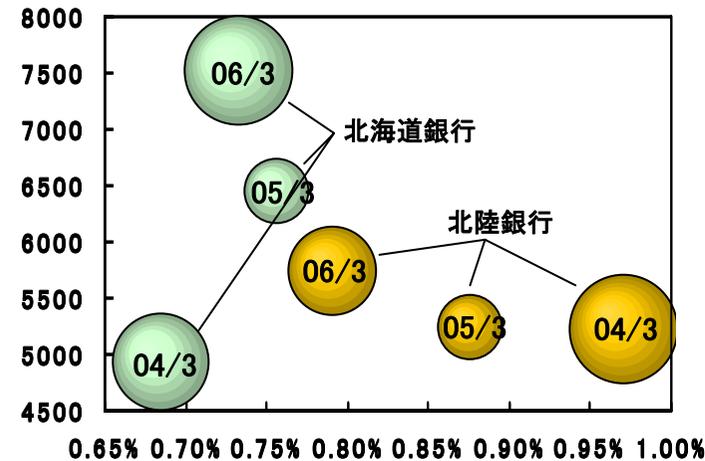
評価損益	04/3	05/3	06/3
その他有価証券	80	184	84
株式	94	134	294
債券	▲5	52	▲215
その他	▲7	▲2	5

# ポートフォリオ (円貨債券)

2行合算



北陸銀行・北海道銀行

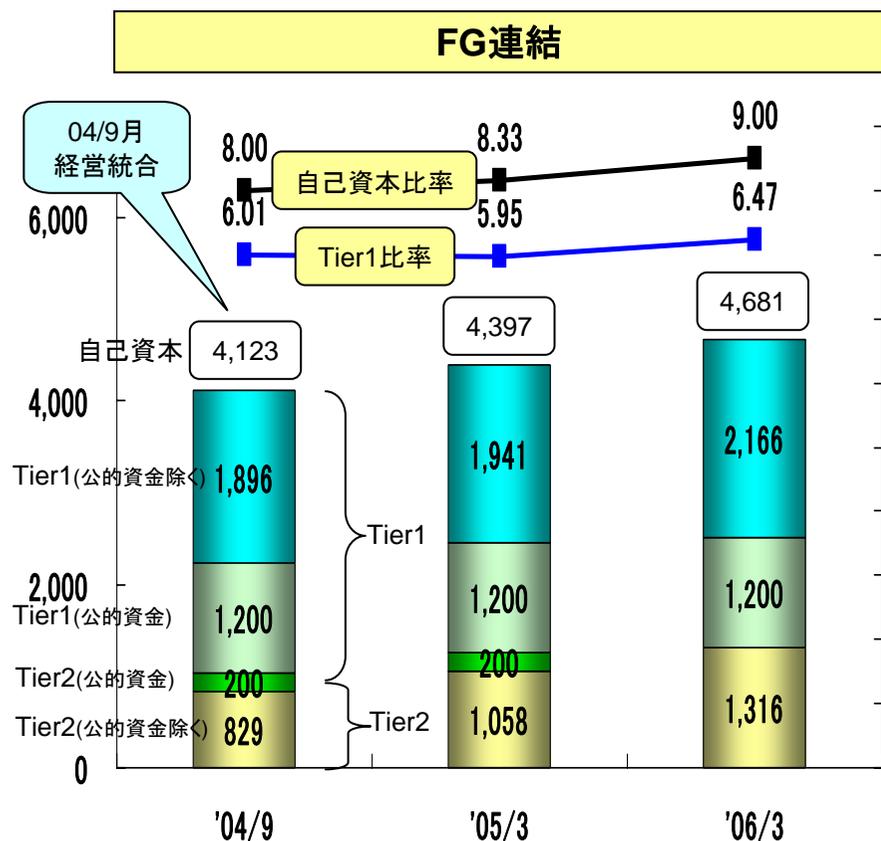


		04/3	05/3	06/3
2行合算	ボリューム(末残)	10,166億円	11,695億円	13,273億円
	期中平均利回り(%)	0.84%	0.81%	0.75%
	デュレーション(年)	3.97年	3.08年	3.07年
	リスク量(VaR)	492億円	202億円	452億円
北陸銀行	ボリューム(末残)	5,229億円	5,253億円	5,751億円
	期中平均利回り(%)	0.97%	0.87%	0.79%
	デュレーション(年)	4.69年	4.21年	3.70年
	リスク量(VaR)	302億円	111億円	212億円
北海道銀行	ボリューム(末残)	4,937億円	6,441億円	7,522億円
	期中平均利回り(%)	0.68%	0.75%	0.73%
	デュレーション(年)	3.20年	2.15年	2.59年
	リスク量(VaR)	190億円	90億円	240億円

※ 内部管理ベース

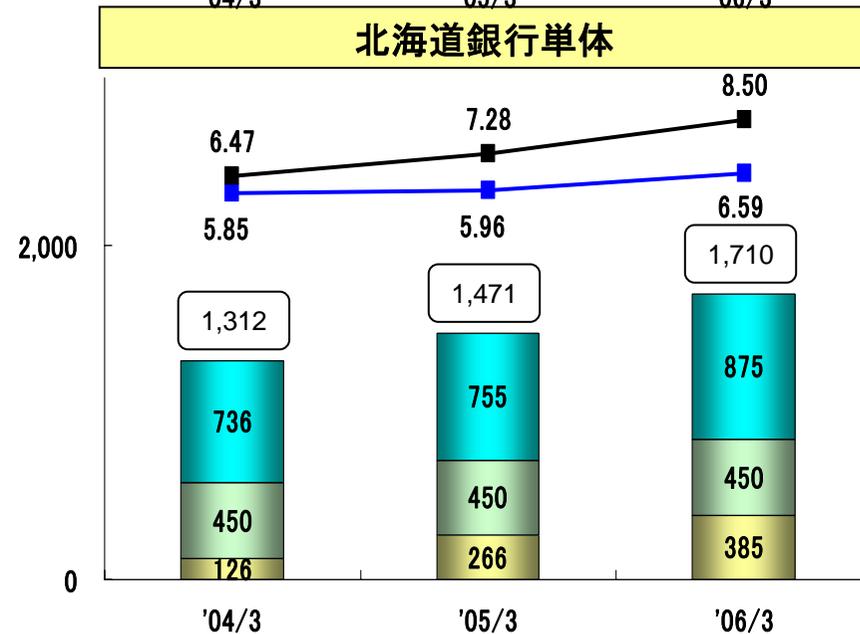
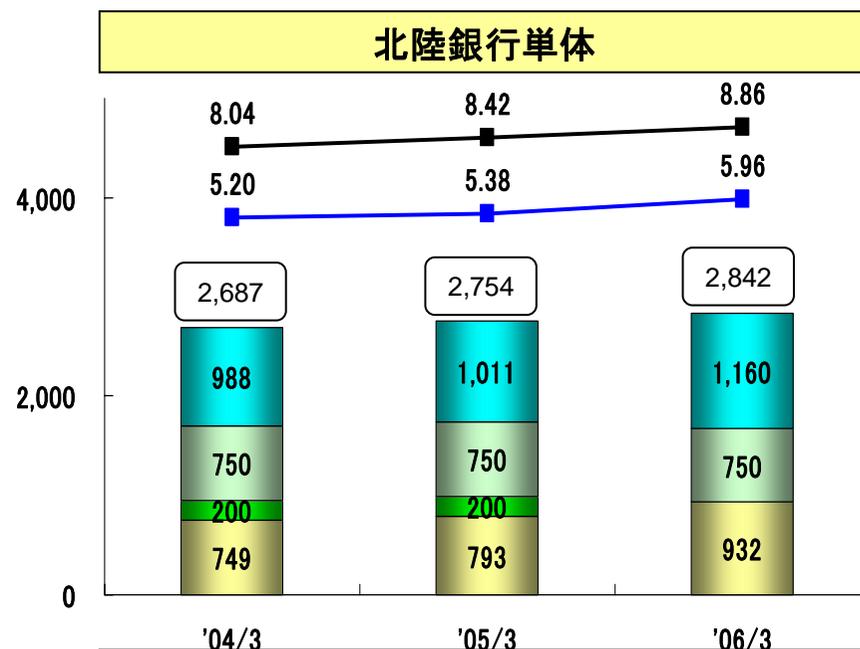
# 自己資本比率の推移

(単位: 億円、%)



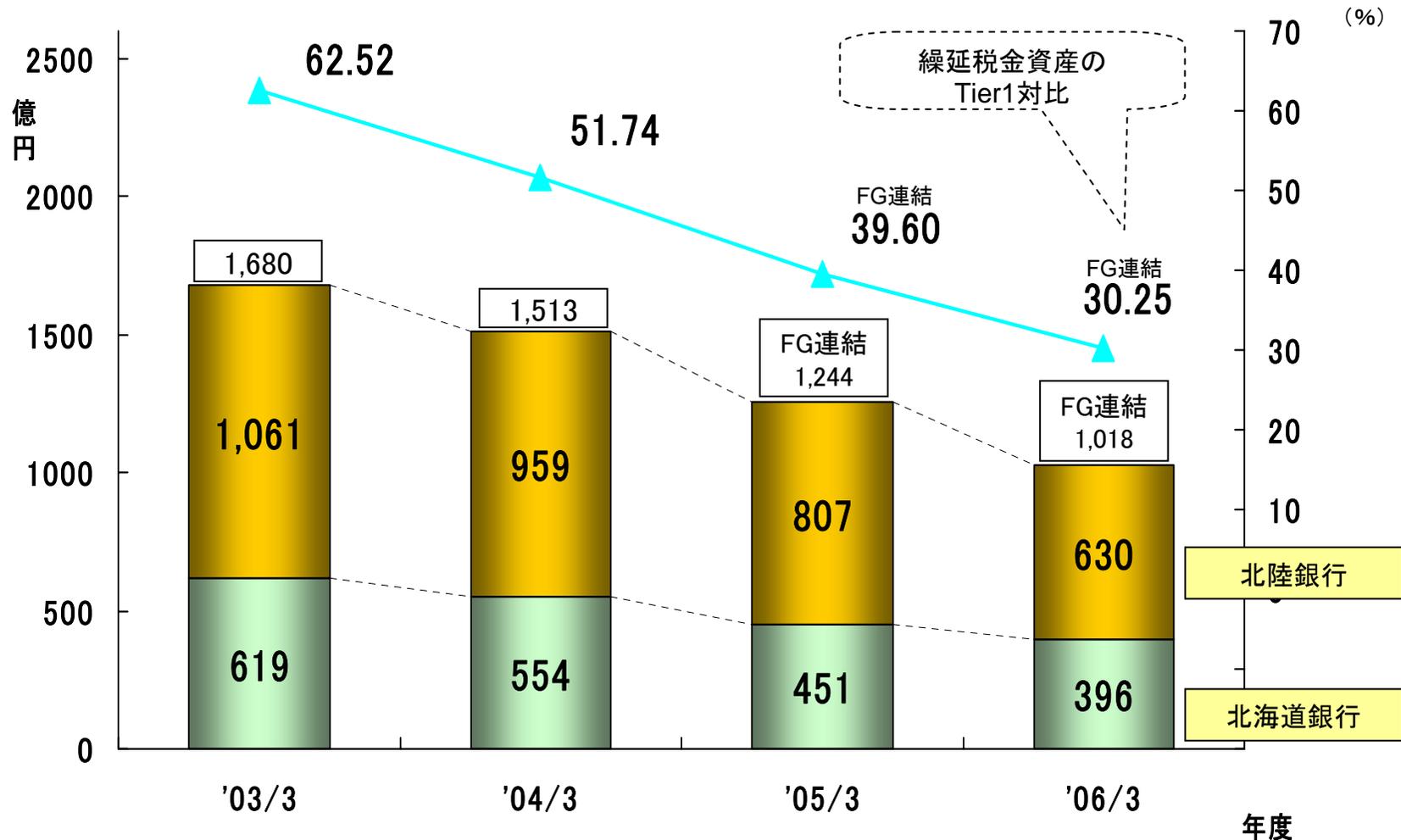
2005年3月 第1回劣後債200億円発行  
 2005年9月 第2回劣後債200億円発行

2006年3月期 公的劣後ローン200億円完済  
 →公的資金残高1,200億円  
 第1回第1種優先株式 750億円  
 (一斉転換日 2010年7月30日)  
 第1回第4種優先株式 450億円  
 (一斉転換日 2010年8月1日)



# 繰延税金資産の推移

- 繰延税金資産は、前年比▲225億円の1,018億円。
- 2008年3月末計画：繰延税金資産Tier1対比20%以下
- 計画に向けて、着実に比率は低下。



※繰延税金資産トータル残高およびTier1対比は、03/3、04/3は2行合算、05/3以降はほくほくFG連結ベース

# 經營戰略

# CSRへの取り組み I

## CSRの基本方針

### 1. 方針

当社グループは、CSRを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経営理念のもとに、法令を遵守し倫理的行動をとることを基本とし、広域地域金融グループとして本業を通じた地域貢献を主軸とした上で、環境、社会へ配慮した活動を積極的に行うことで、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指す。

### 2. 定義

#### (1) CSR (Corporate Social Responsibility = 企業の社会的責任)

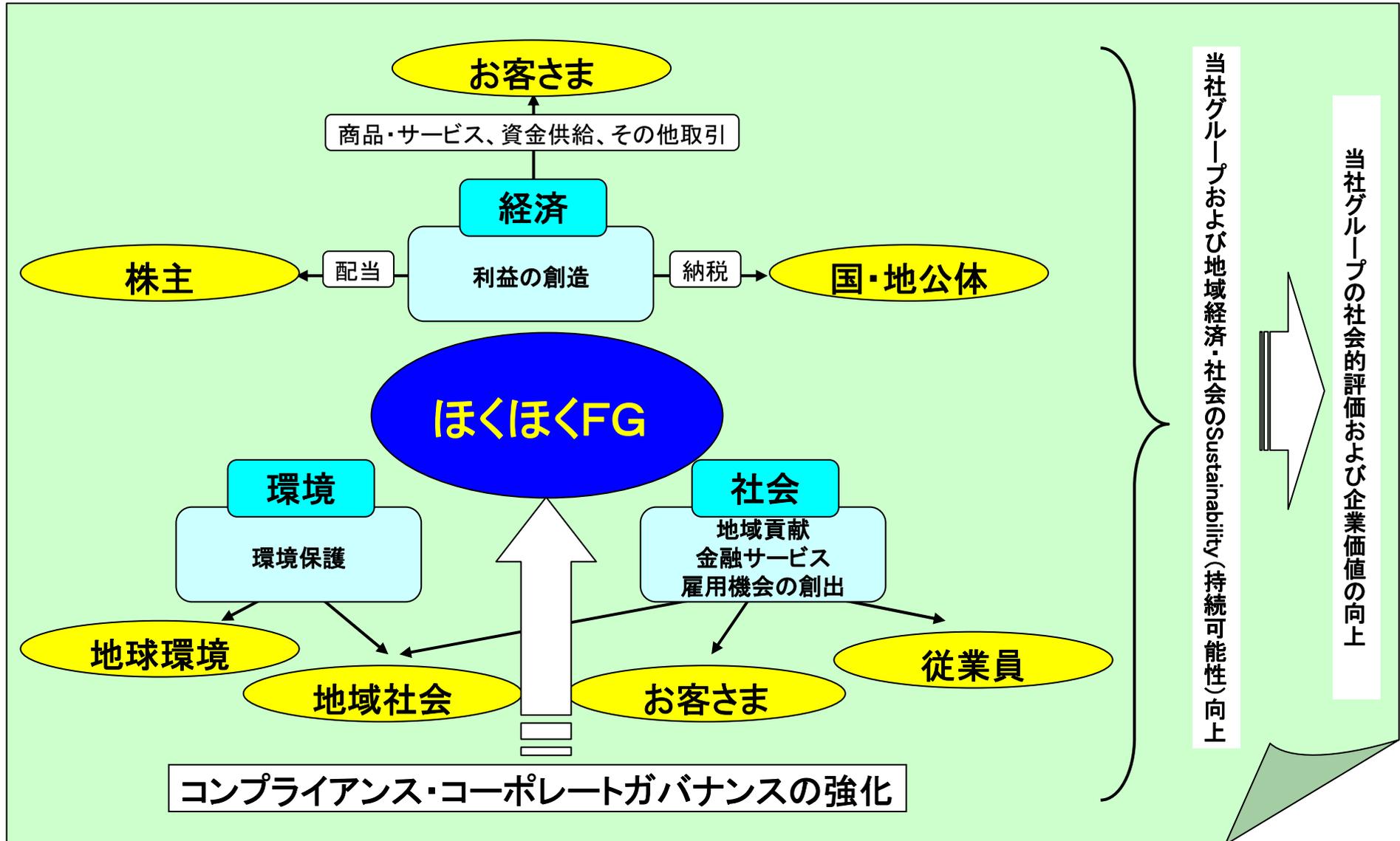
「当社グループ、地域経済および社会の持続的な発展のために、経済的な利益を追求するだけでなく、環境、社会貢献などさまざまな社会問題に配慮する等、当社グループと利害関係を持つすべてのステークホルダーに対し果たすべき責任。」と定義する。

#### (2) ステークホルダー

当社グループの利害関係者すべてとする。特に重視するステークホルダーとして、「お客さま、地域社会、株主、従業員」と定義する。

# CSRへの取り組み II

## 当社グループのCSRの考え方



# CSRへの取り組み III

## ビジネスマッチング

中堅都市では、初のビジネスフォーラムの開催

### ほくほくFGビジネスフォーラム in 富山

- ・'04年9月: 出展81社(うち道銀取引先7社)  
来場者1,200名
- ・'05年9月: **出展86社**(うち道銀取引先7社)  
**来場者2,100名**

### 北海道ビジネスフォーラム in 札幌

- ・'04年10月: 出展70社(うち北陸銀取引先7社)  
来場者1,800名
- ・'05年10月: **出展69社**(うち北陸銀取引先8社)  
**来場者3,000名**

### 医と薬とバイオのサミット in 金沢

- ・'06年5月: **出展72社90ブース**  
高等研究機関10、  
政府系機関3、  
企業57、  
薬膳料理研究グループ1、  
(中国)大連バイオテクノロジー・医薬産業パーク  
**来場者3,200名**

### 北海道の「食」特別商談会 in 札幌

- ・'05年5月: 出展32社  
来場バイヤー12名
- ・'05年9月: **出展27社**  
来場バイヤー・経営者117名

# CSRへの取り組み IV

## 海外ビジネス支援



### 【東・東南アジア拠点網】

- 北陸…上海、大連、シンガポール
- 北海道…瀋陽、北京、サハリン

地銀初！

### 中国ビジネスマッチング商談会 in上海

北陸銀行・北海道銀行・静岡銀行・千葉銀行・八十二銀行  
・05年12月：出展81社、来場1,500社、1日で3,000件の商談

さらに、

### 地銀八行合同商談会 in上海(開催予定)

北陸銀行・北海道銀行・  
横浜銀行・七十七銀行・常陽銀行・大垣共立銀行・京都銀行・中国銀行  
・06年7月：出展86社

### 「ほくほくASEAN会」設立

・06年2月：設立メンバー40社

地銀初！

### 上海市と経済交流覚書締結

・06年4月：上海市「人民政府対外経済貿易委員会」との覚書締結

### 海外進出企業の組織化・情報提供

- ・「ほくりく長城会」…会員数496社(06/3末)
- ・「ほっかいどう長城会」…会員数228社(06/3末)
- ・「上海長城会」…会員数152社(06/3末)
- ・「ほくほくASEAN会」…会員数95社(06/3末)

# ほくほくFGのシナジー効果 I ～目指すべき姿～

## 「経営統合後の目指すべき姿」と実績

2004年6月11日公表「経営統合の基本戦略と目標について」より

	ほくほくFG 08/3期 目標(※1)	2行合算 (+分割子会社)						
		北陸銀行 (+分割子会社)		北海道銀行		2行合算		
		06/3実績		06/3実績		06/3実績		
			04/3対比		04/3対比		04/3対比	
コア業務純益	950億円以上	552億円	2億円	370億円	42億円	922億円	44億円	
当期純利益	300億円以上	156億円	107億円	134億円	26億円	290億円	133億円	07/3達成見込
ROA(※2)	1%以上	1.03%	0.01%	1.00%	0.03%	1.02%	0.02%	現行基準
		0.98%	0.01%	0.98%	0.04%	0.98%	0.02%	当初基準
OHR(※3)	48%程度	47.97%	▲0.64%	50.44%	▲2.34%	48.99%	▲1.26%	ほぼ達成
道内拠点数 (※4)	138カ店以下	19	▲3 (▲5)	123	▲3 (▲4)	142	▲6 (▲9)	
自己資本比率	9%程度	8.86%	0.82%	8.50%	2.03%	9.00%	1.52%	達成
不良債権比率	5%台以下	6.03%	▲1.84%	5.31%	▲2.95%	5.76%	▲2.25%	達成

※1 目標 ～ 自己資本比率は「FG連結」ベース、その他は「2行合算（+分割子会社）」ベース

※2 ROA = 上段 ～ コア業務純益 / (総資産期中平残 - 支払承諾見返期中平残) …… 現行定義  
下段 ～ コア業務純益 / 期首期末総資産平均 (支控除前) …… 目標公表時定義

※3 OHR = 経費 / コア業務粗利益

※4 道内拠点数 ～ 出張所を含む。店舗内店舗は1カ店として表示

「16/3対比」( )内は、平成15年5月統合発表時との対比

※「コア業務純益」「当期純利益」「ROA」「OHR」「不良債権比率」は、分割子会社合算ベース  
「自己資本比率」は、各行欄は単体ベース、合算欄はFG連結ベース (04/3対比は2行合算との対比)

# ほくほくFGのシナジー効果 II ～店舗統廃合～

## 店舗統廃合(道内拠点)

		'04/3	'05/3	'06/3
北陸銀行	拠点数	22	20	19
	廃止・統合店舗		▲1 (北見)	▲1 (網走)
	ローンプラザ化		▲1 (清田)	
北海道銀行	拠点数	126	125	123
	廃止・統合店舗		▲1 (輪西)	▲2 (銀座通) (光星)
	ローンプラザ化			
拠点数合計		148	145	142

<計画> 道内拠点数  
 '04/3:148 ⇒ '08/3:138

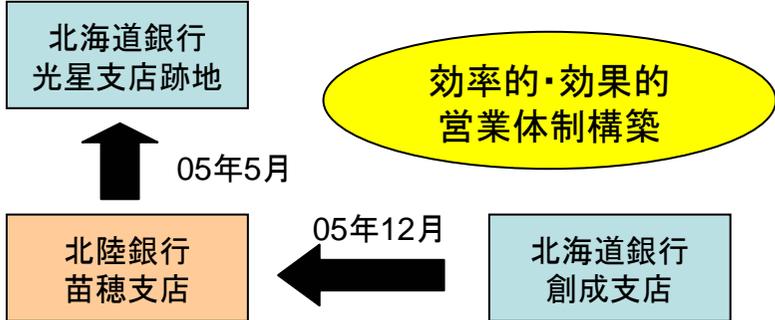
※拠点数=支店+出張所(店舗内店舗含まず)  
 ※北陸北見・網走⇒道銀へ統合  
 ※道銀輪西・銀座通・光星⇒店舗内店舗へ

統合店舗の年間経費分の削減効果

【道外店舗統廃合】  
 道銀大阪支店⇒北銀大阪支店へ

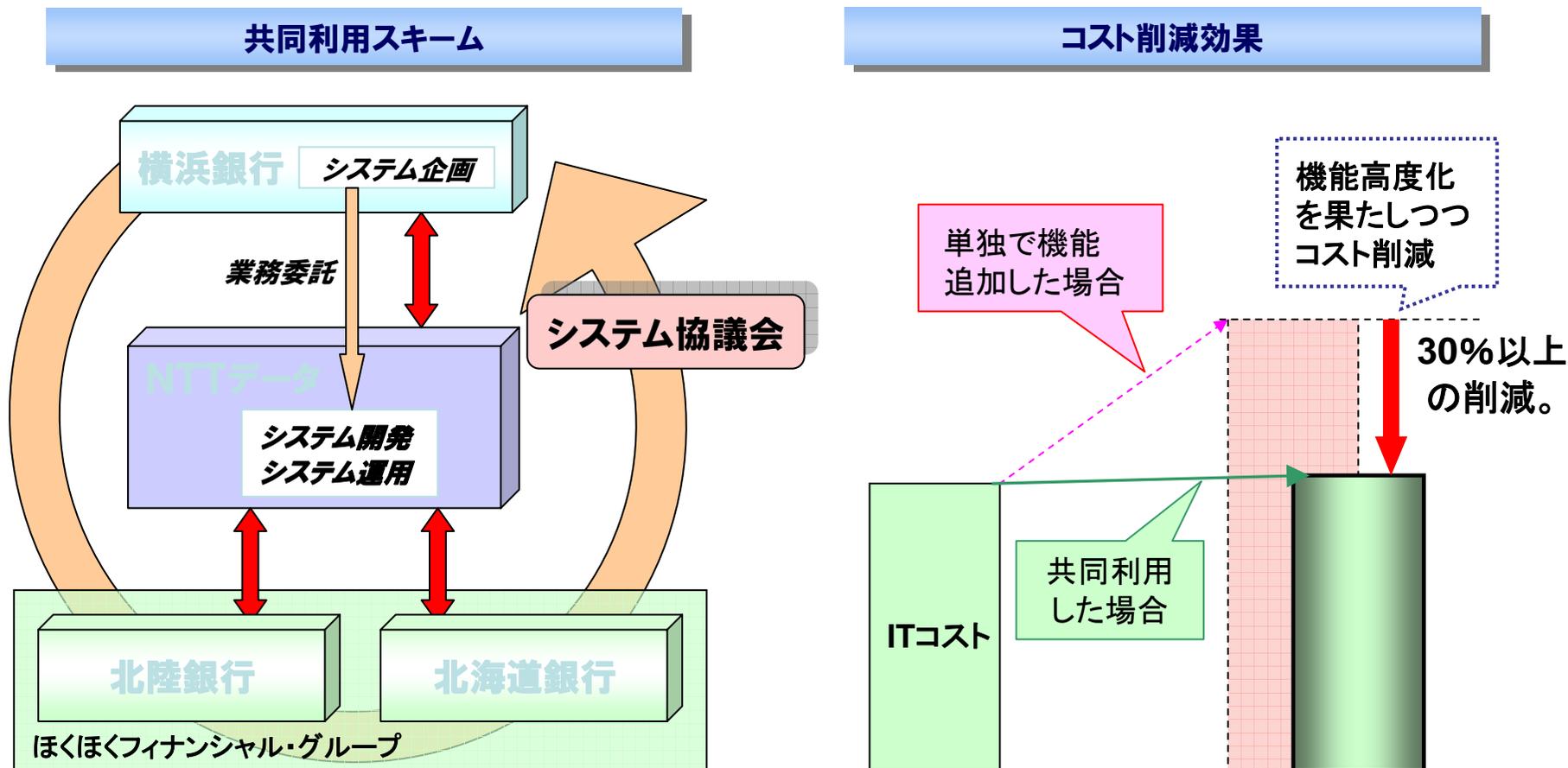
## 店舗の効率的再配置

○北海道銀行東京支店を  
 北陸銀行東京支店ビル内へ移転('05年2月)  
 ⇒支払賃料削減効果



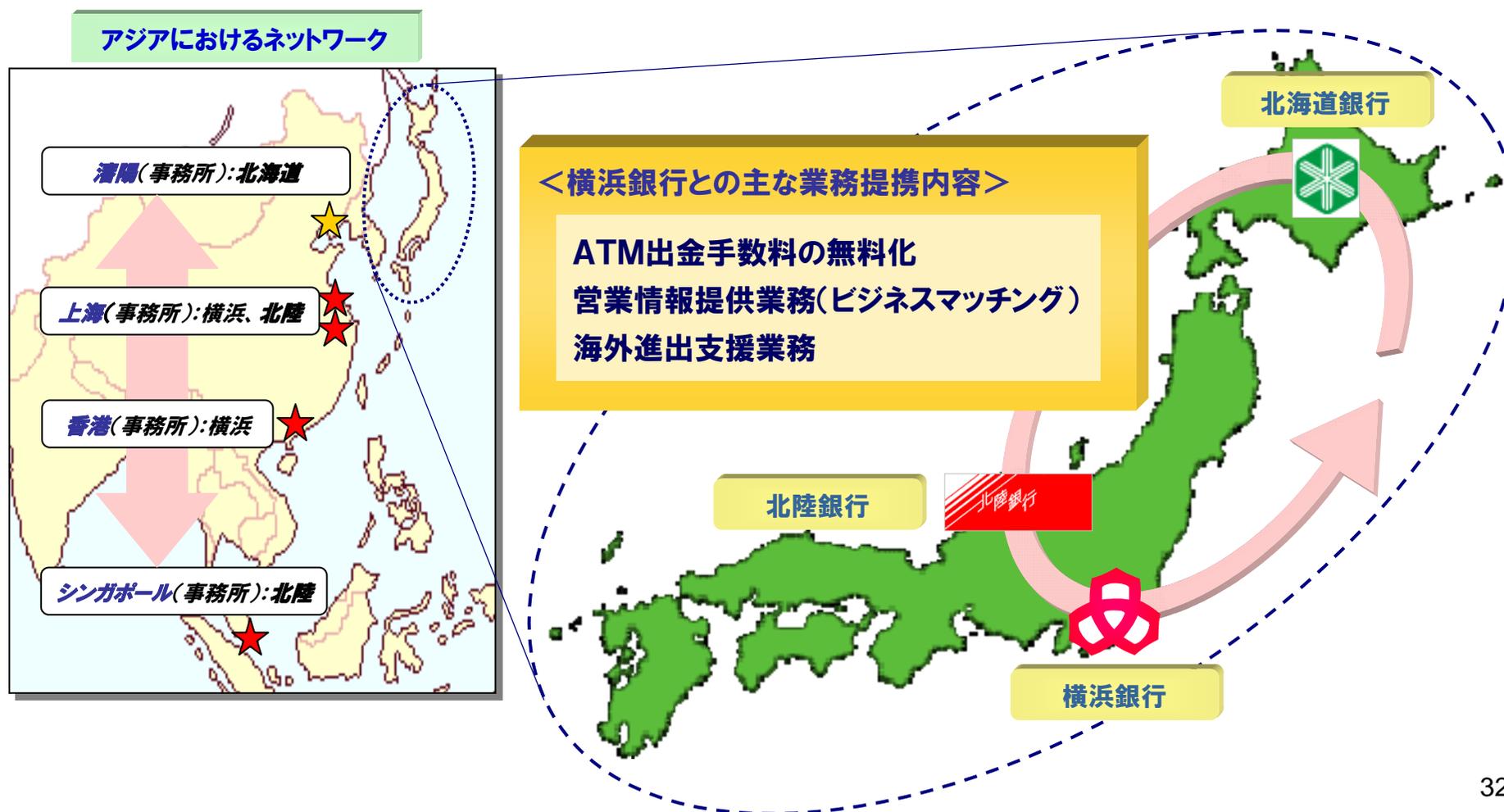
# ほくほくFGのシナジー効果 Ⅲ ～システム共同利用～

- 2006年3月、北陸銀行・北海道銀行・横浜銀行・NTTデータ間でシステム共同利用の基本契約を締結。  
(稼動開始:2010年1月を予定)
- “顧客ニーズの多様化に対応した機能の高度化”と“ITコストの削減”を同時に実現。
- 現在、システム開発に着手する一方、共同利用対象の拡大を協議中。



# ほくほくFGのシナジー効果 IV ～業務提携～

- 2006年3月、横浜銀行との間で営業分野における業務提携を開始。
- 今後は、3行の協力体制により、システムだけでなく、営業分野でも顧客利便性を追及していく。



本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
企画グループ(担当:達田)  
TEL:076-423-7331  
FAX:076-423-9545  
E-MAIL:[honsha2@hokuhoku-fg.co.jp](mailto:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp)  
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。